pigeon

取扱説明書 保証書付き

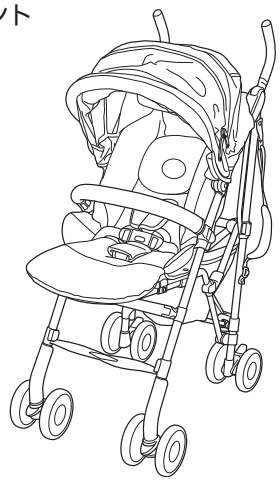
12.03(1)

ピジョン contento／contento+

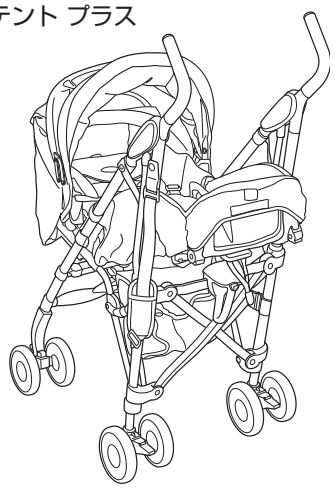
コンテント　　コンテント プラス

A形ベビーカー

コンテント



コンテント プラス



※イラストと実際の商品は、形状など異なる場合があります。

もくじ

ご使用の前に……2
付属品……3
安全にお使いいただくために……4

1 各部の名称

各部の名称……9

2 日常での使い方

ベビーカーの開き方……12
幌の取り付け方（背面使用時）……13
ストッパーの使い方（後輪のみ）……14
キャスターの使い方……15
リクライニングの使い方……16
シートベルト位置と長さの調整の仕方……17
フロントガードの使い方（背面時のみ使用）……20
ピローの使い方……21
足のせバーの使い方……22
シートベルトの使い方……23
ベビーカーの折りたたみ方……24
ショルダーストラップの使い方、取り外し方……26

3 お手入れのための取り外し・取り付け

シートの取り外し方、取り付け方……27
肩ベルト・腰ベルトの取り外し方、取り付け方……29
カゴの使い方、取り外し方、取り付け方……31

4 対面座席での使用（コンテント プラスのみ）

対面座席の使用（対面インファントシートの取り付け方）……32
幌の取り付け方（対面使用時）……36
シートベルトの使い方（対面使用時）……37
対面インファントシートの取り外し方……38

5 日常の点検とお手入れ

保管のしかた……41
日常点検について……41
注油……42
清掃……42

6 その他

廃棄方法について……44
アフターサービス……44
SG マーク被害者救済制度……45
保証について（保証書）……46
お問い合わせ先……裏表紙

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになった後、大切に保管してください。
- 本品を他のお客様にお譲りになる際は、必ず本書も合わせてお渡しください。

安全基準A形（1ヵ月～36ヵ月まで）	「コンテント」および「コンテント プラス」の背面仕様のみ

ご使用の前に

この製品は、一般家庭でお子様を乗せて、外気浴、買い物などに使用するための一人乗りベビーカー(乳母車)です。

対象年齢

● 対象年齢：生後1ヵ月以上36ヵ月以内

※お子様の発育により個人差があります。お子様の体重の目安は15kg以下です。
※コンテント プラスの対面インファントシートの使用の目安は、3ヵ月まで（体重の目安は、6kgまで）です。
※コンテント、コンテント プラスの背面シートでお子様を寝かせた姿勢で、ご使用いただける月齢の目安は12ヵ月までです。お子様の頭がヘッドレストに当たる場合は、リクライニングを一番倒した状態で使用しないでください。

望ましい連続使用時間

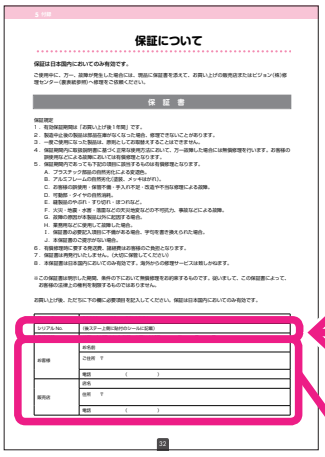
● 寝かせた姿勢: 2時間以内　　**● 座らせた姿勢: 1時間以内**

※お子様が一人でお座りができるまでは、寝かせた状態でご使用ください。

保証書にご記入ください

購入後、本書巻末の「保証書」に次の項目をご記入ください。

● 製品のカラー
● シリアルNo（右後脚下部に貼付のシールに記載）
● お客様のお名前・ご住所・電話番号
● お買い求めになった販売店名
● 購入年月日（※お買い上げ時のレシート添付でも有効）


保証について

保証は日本国内においてのみ有効です。

ご使用中に、万一、故障が発生した場合には、商品に保証書を添えて、お買い上げの販売店またはビジョン(株)修理センター(裏表紙参照)へ修理をご依頼ください。

保 証 書

保証期間
1. 有効保証期間は「お買い上げ後1年間」です。
2. 製品中古後の製品は部品在庫がなくなった場合、修理できないことがあります。
3. 一度ご使用になった製品は、返品として処理することはできません。
4. 保証期間内に取扱説明書に基づく正常な使用状態において、万一故障した場合には無償修理を行います。お客様の誤使用などによる故障においては有償修理となります。
5. 保証期間内であっても下記の項目に該当するものは有償修理となります。
A. プラスチック部品の自然劣化による変色。
B. アルミフレームの自然劣化に起因、メッキはがれ。
C. お客様の取扱用・保管不備・手入れ不足・改造や不当な修理による故障。
D. 可動部・タイヤの自然摩耗。
E. 経年劣化のヤレ・すり切れ・ほつれなど。
F. 火災・地震・水害・落雷などの天災地変などの不可抗力、事故などによる故障。
G. 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
H. 業務用などに使用して故障した場合。
I. 保証書の必要記入項目に不備がある場合、字句を書き換えられた場合。
J. 本保証書のご提示がない場合。
6. 有償修理時に要する作業費、運搬費はお客様のご負担となります。
7. 保証書は再発行いたしません。(大切に保管してください)
8. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。

※この保証書は明示した期間、条件の下において無償修理をお約束するものです。従いまして、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お買い上げ後、ただちに下の欄に必要項目を記入してください。保証は日本国内においてのみ有効です。

シリアルNo.	（後ステーム側に貼付のシールに記載）	
お客様	お名前	
	ご住所 〒	
	電話 （ ）	
販売店	店名	
	住所 〒	
	電話 （ ）	

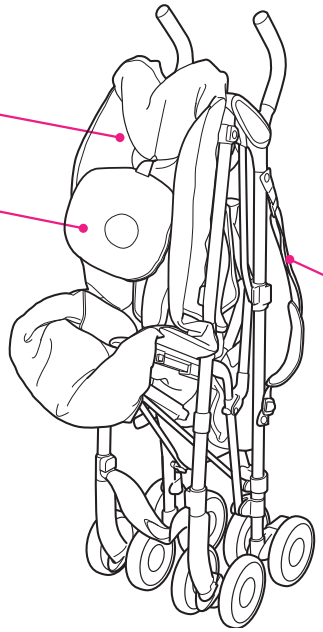
付属品

購入時の状態

● 開封後、本体と付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

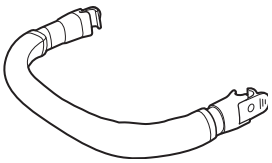
製品には足のせバーと開閉ロックグリップに梱包保護部材が付いています。
ベビーカーを開く前に、必ず取り外してください。

① ベビーカー本体
② ピロー
③ ショルダーストラップ
④ 幌
⑤ フロントガード
⑥ 取扱説明書(本書)
⑦ 対面インファントシート(コンテント プラスのみ)

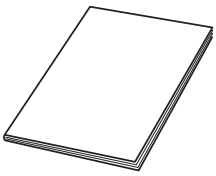


④ 幌
(コンテントとコンテント プラスは、幌の形状が違います。イラストは、コンテントプラスの幌です。)

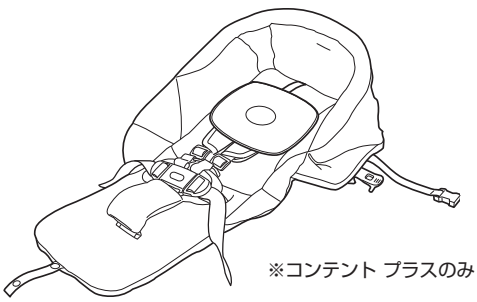
⑤ フロントガード



⑥ 取扱説明書(本書)



⑦ 対面インファントシート



警告

本体および部品を入れてあるポリ袋は、窒息事故を防ぐため、廃棄してください。

安全にお使いいただくために

本書には製品を使用する上でご理解いただきたい警告及び注意事項を記載しています。
記載内容は、製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を事前に防止するためのものです。
記載内容を守られなかった場合は、お子様や保護者の方、および他の人々が重大な損害を受ける恐れがあります。本書では取扱いを誤った結果、使用者、お子様に発生が予想される危害・損害の大きさや切迫度により項目を［警告］［注意］の２項目に分けて示しています。

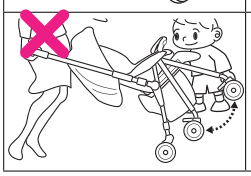
表示	表示の内容
警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

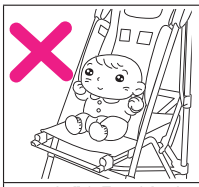
ご使用の際にお守りいただく内容を下記の表示マークで示しています。

表示マーク	マークの意味
⚠	警告・注意を促す内容があることを示します
✕	禁止行為を示します。

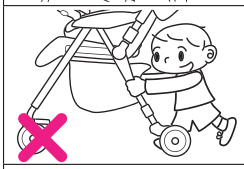
⚠ **警告**

「ベビーカーの転倒」によりお子様が落下したり、ベビーカーが折りたたまれてしまい、お子様が挟み込まれる恐れがあります。

<table>
<tr>
<td> </td>
<td>●階段・エスカレーター・踏み切りなどの段差があるところでは使用しないでください。
●排水溝の蓋の上の走行には十分注意してください。車輪が挟まったりして転倒などの危険があります。
●砂場・砂浜・河原・砂利道・山道・ぬかるみ・雪道では使用しないでください。
●風の強い時、雷の時など悪天候の時は使用しないでください。使用者も危害を受ける恐れがあります。</td>
<td colspan="2"></td>
</tr>
<tr>
<td> </td>
<td>破損、異常が発生した場合は、そのまま使用せず、必ず修理を受けてください。</td>
<td> </td>
<td>お子様を乗せたままベビーカーを持ち上げないでください。ベビーカーが破損したり、お子様が落下する恐れがあります。</td>
</tr>
<tr>
<td>  </td>
<td colspan="3">ベビーカーの開閉時やリクライニング操作時、幌・カゴなどの操作時に、そばにお子様や他の人がいると、誤って指をはさむなどのケガをする恐れがあります。</td>
</tr>
</table>

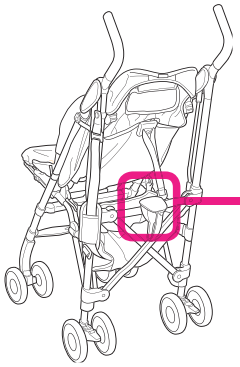


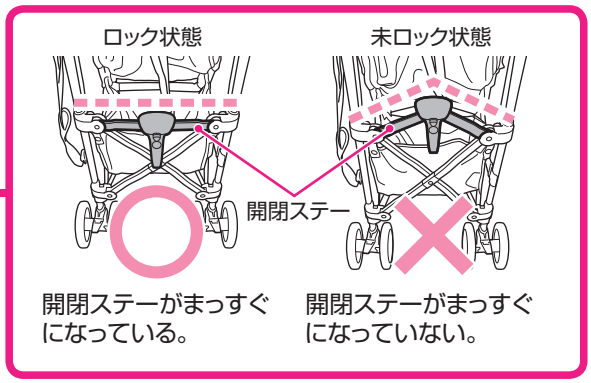
着脱シートを取り外したままお子様を乗せないでください。すき間に手や足などをはさむ恐れがあります。



お子様にベビーカーを操作させないでください。手足をはさんだり、転倒するなど思わぬ事故が発生する恐れがあります。

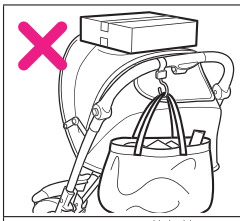
ベビーカーを開いたら、開閉ステーがまっすぐになっていることを確認してください。また、前後輪を交互に持ち上げ、車体が閉じないことを確認してください。



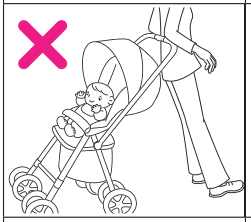


警告

ベビーカーの転倒によりお子様が落下する恐れがあります。



カゴ以外の所に荷物を乗せたり、ハンドル部に荷物をつるしたりしないでください。ハンドル部に荷物を下げたり、荷重をかけると後方へ転倒する恐れがあります。



ベビーカーに寄りかかったり、大人が座ったりするなど、過度の荷重をかけないでください。フレームの故障、変形の原因になります。

- ●二人以上のお子様を乗せないでください。
- ●お子様を座面以外のところに乗せないでください。
- ●ベビーカーはゆっくり歩いて押してください。走ると車輪が振れて転倒する恐れや、お子様に悪影響を与える恐れがあります。

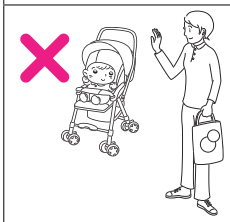
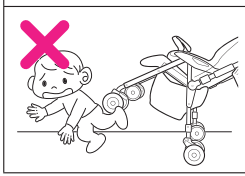
警告

お子様が落下する恐れがあります。

	●お子様は座面の正しい位置に座らせ、シートベルト（股ベルト、腰ベルト、肩ベルト）を必ず締めて使用してください。 ●バックルを締めた後、シートベルト（股ベルト、腰ベルト、肩ベルト）にゆるみが無いこと、確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。肩ベルトが長すぎる状態で使用した場合に、首に巻きついたりする恐れがあります。
	●お子様は思わぬ動作をしますので、シートベルト（股ベルト、腰ベルト、肩ベルト）を締めていてもお子様の抜け出しや立ち上がりには目を離さず、十分注意してください。 ●お子様をベビーカーの中で立たせないでください。

警告

ベビーカーが動き出したり、転倒することによりお子様が落下する恐れがあります。

	ストッパーは、構造上、いかなる状態でもベビーカーを静止させることのできるものではありません。ストッパーをかけていても動き出す恐れがあります。ストッパーを過信しないでください。
	お子様や荷物を乗せたままベビーカーから離れないでください。ストッパーをかけた状態でも離れないでください。
	●お子様を乗せていない状態でも必ずストッパーはかけてください。 ●空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。
	お子様が乗り降りする際は、ベビーカーが不安定になり、転倒する恐れがありますので、しっかりと支えてください。

警告

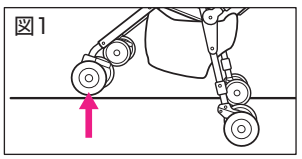
対面インファントシートの使用の目安は3ヵ月まで（体重の目安は6kgまで）です。

お子様の成長により窮屈になった場合は、使用を中止して、背面シートを使用してください。	
	対面インファントシートを持って、ベビーカーを持ち上げないでください。
対面インファントシートの取り付け後は、上に引っ張って確実に取り付けられていることを確認してください。	
お子様が成長すると、ハンドル操作がしにくくなる場合があります。背面シートに切り換えて使用してください。	
対面インファントシート使用時は、フロントガードは取り外してください。	
	ベビーカーを背面で使用する場合は、必ず対面インファントシートを外した状態で使用してください。

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

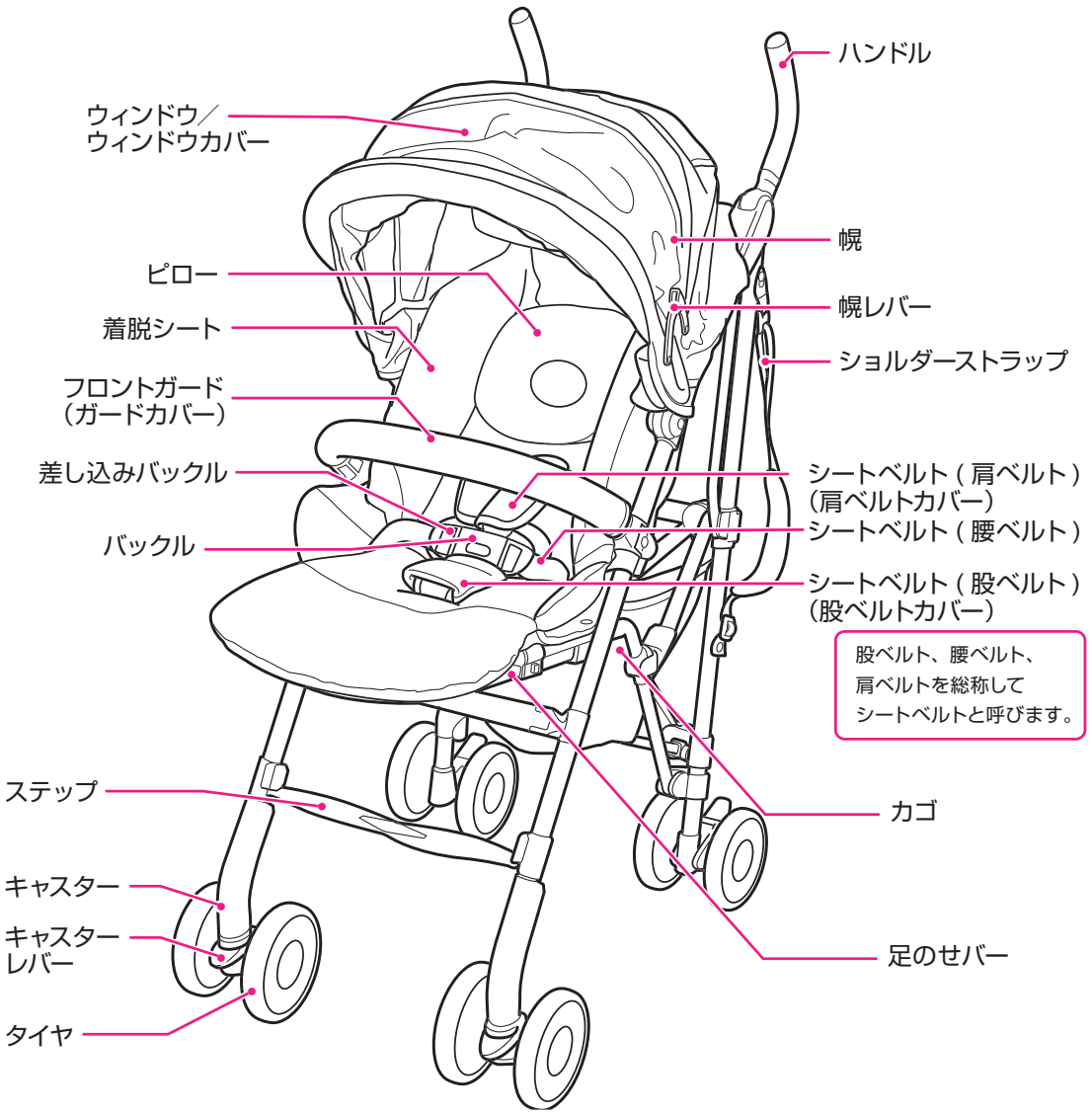
1. お子様を乗せる以外の目的で使用しないでください。目的以外の使用は破損・故障・ケガなどの恐れがあります。
2. ベビーカー本体には、お子様や荷物を乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。ベビーカーの破損の原因となります。
3. お子様の足が車輪や地面につく場合は、使用しないでください。足をケガする恐れがあります。
4. お子様の頭がヘッドレストに当たる場合やシートの幅がきつくなりましたら、シートを起こした状態でお使いください。
5. フロントガードは引っ張ったり、振り回したり、必要以上に曲げたりしないでください。破損、故障の恐れがあります。
6. 使用のたびに、ネジ・リベット類や車輪のゆるみ・部品の欠損が無いか、動作に問題が無いかを確認してください。
7. 前輪を持ち上げたままの状態で走行しないでください。過度の荷重がベビーカーに加わり破損、故障の恐れがあります。
8. 段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。前輪を浮かさず無理に段差をのり越えようとすると前輪に衝撃が加わり破損・故障の原因になります。（図1参照）



9. 夏季の炎天下では路面からの熱によりベビーカー内の温度が上昇します。長時間の使用は避けてください。
10. 冬季はベビーカー内の温度も下がります。お子様が寒くないよう保温を行ってください。
11. ベビーカーを分解、改造しないでください。
12. このベビーカーは、バス・電車などの乗り物内での使用を目的として設計されていません。
    バスの中ではベビーカーを使用しないでください。
    電車の中で、お客様の責任により使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒する恐れがありますので、必ずストッパーを掛けて、十分に注意してご使用ください。
    電車ご利用の際は、無理な乗り降りはしないでください。ベビーカーが自動ドアにはさまれてケガをする場合があります。また、ホームと電車の段差、隙間には十分注意して乗降してください。
13. 駅のホームには傾斜があります。ベビーカーから手を離さないでください。
14. バックルを固定しづらい場合は、お菓子や飲み物などの異物が入っている可能性があります。バックルに異常を感じた場合は、使用を中止して、修理センターへご連絡いただき、点検修理を受けてください。

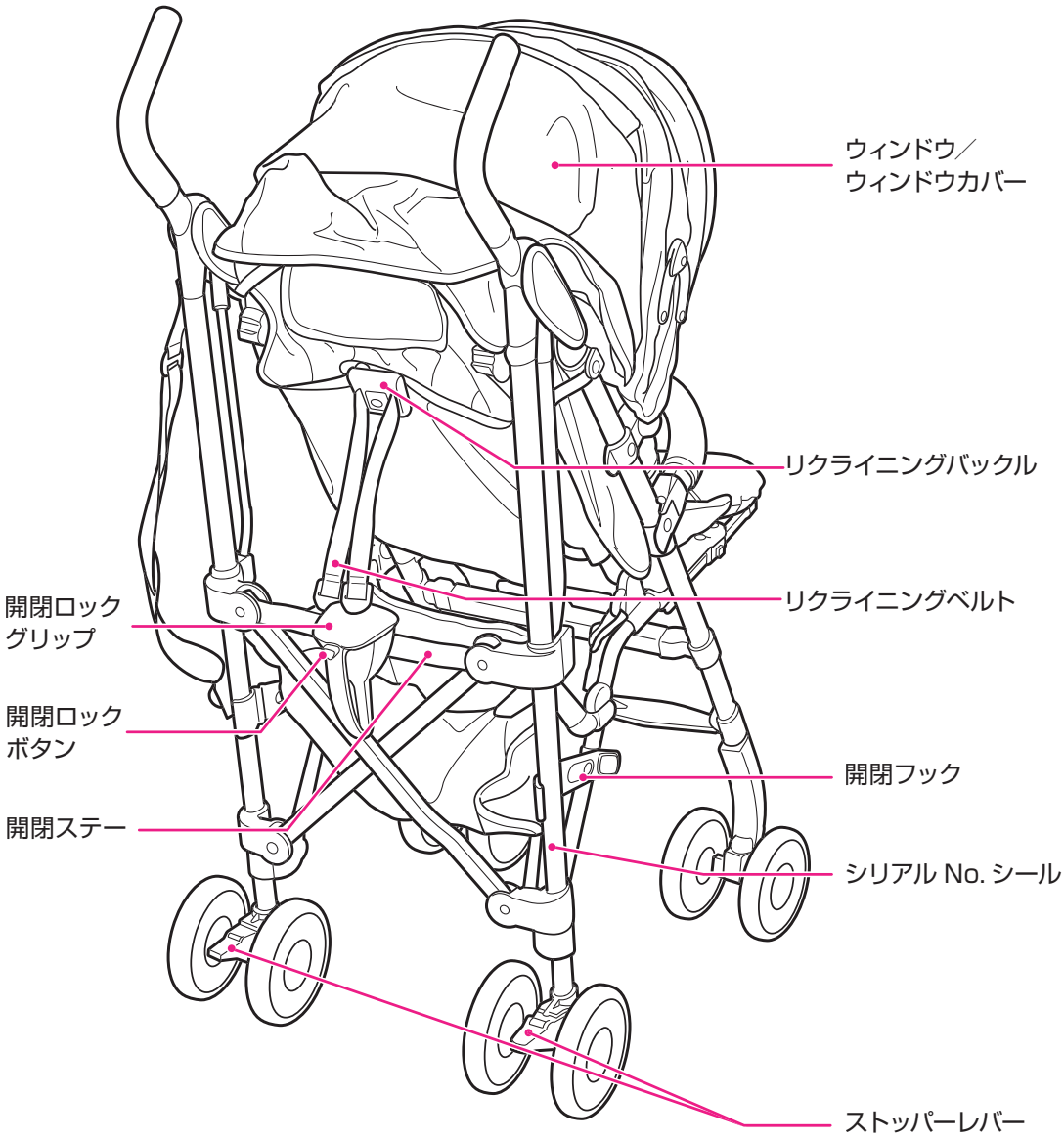
各部の名称

背面シート使用時（正面側）

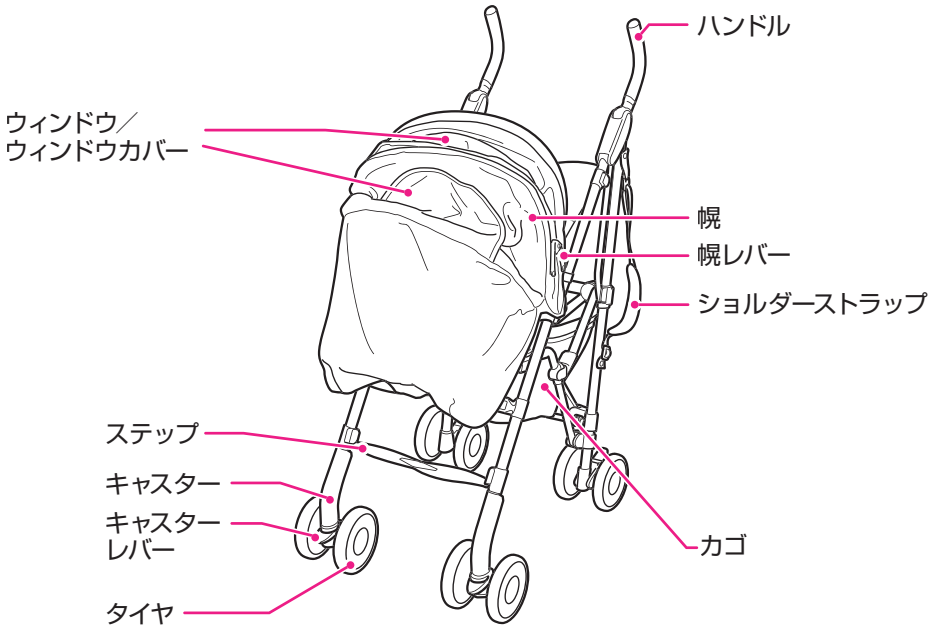


各部の名称

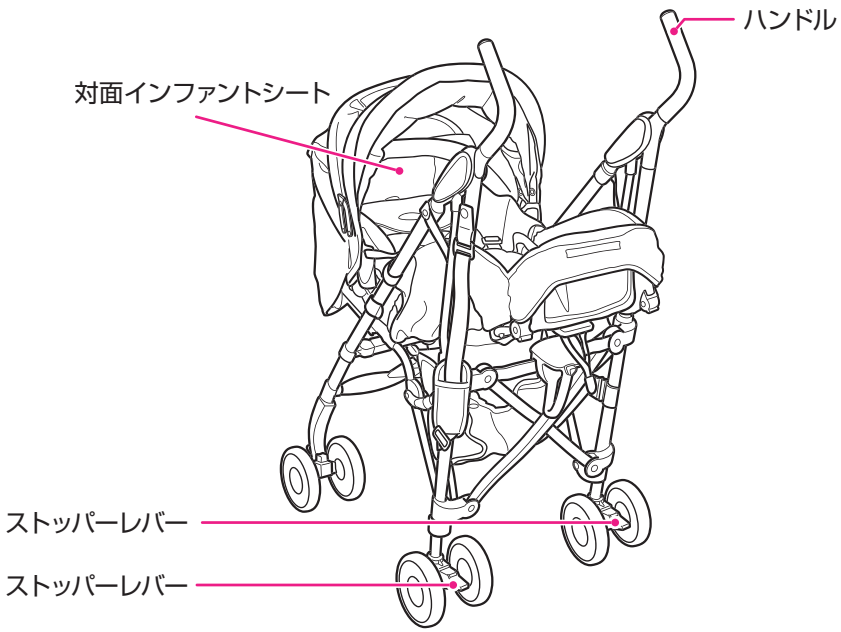
背面シート使用時（ハンドル側）



対面インファントシート使用時（正面側）



対面インファントシート使用時（ハンドル側）

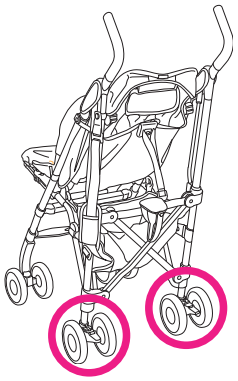


本書は初めにコンテントの組み立て方、次にコンテント プラス（対面インファントシート）の組み立て方を説明します。

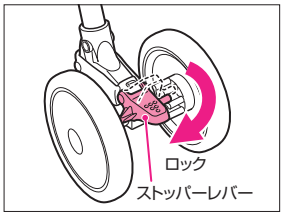
ベビーカーの開き方

警告

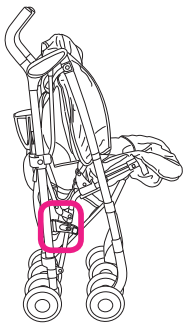
- ベビーカーの開閉の操作時は、そばに人（特に小さいお子様）を近づけないで行ってください。指や手を挟んだりする恐れがあります。
- ハンドルを持ち上げて、車体を浮かせた場合は開くことができません。
- ハンドルを握らない、または後輪ストッパーレバーをロックしない状態で開閉ロックグリップを押し下げると、ベビーカーが前に動く恐れがあります。



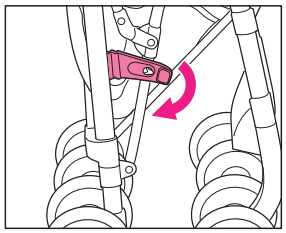
1 左右後輪のストッパーレバーを押し下げて、ロックする



- 走行を始める前に解除してください。



2 左側面の開閉フックを外す

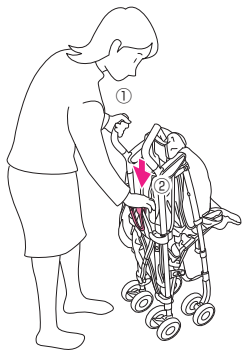


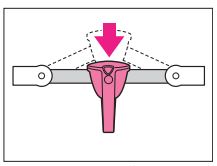
3 タイヤが接地した状態でベビーカーのハンドル側に立ち、

①ハンドルを持つ

②開閉ロックグリップの上部を手で押し下げる。

- 開閉ロックグリップの後方の穴には、指を入れないでください。





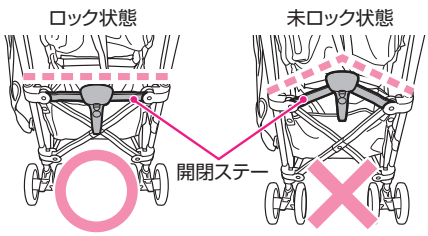
開閉ステーがまっすぐになるまで押し下げます。

注意

- 開くときに引っかかりがある場合は、開閉フックが外れているか確認してください。
- 開くときに、引っかかりや挟み込みなどを感じたら、開くのをいったん止めて、荷物や玩具・シートベルトなどが引っかかっていないかを確認してください。無理に開くと故障の恐れがあります。

4 ベビーカーが完全に開いたら、開閉ロックグリップ上部から手を離し、ベビーカーが折りたたまれないことを確認する

- 開閉ステーがまっすぐになっていることを確認します。開閉ステーがまっすぐになっていない場合は、開閉ロックグリップを押し下げて、まっすぐにしてください。
- ハンドルを持って前後輪を交互に持ち上げ、ベビーカーが折りたたまれないことを確認します。



開閉ステーがまっすぐになっている。

開閉ステーがまっすぐになっていない。

5 幌を取り付ける（P13参照）

- コンテント プラスで対面インファントシート使用時の幌の取り付けは、P36を参照してください。

6 フロントガードを取り付ける（P20参照）

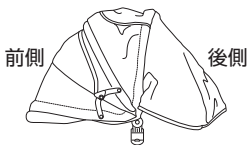
幌の取り付け方（背面使用時）

注意

- ベビーカーの折りたたみは必ず幌を折りたたんでから行ってください。開いたまま無理に折りたたむと、幌が破損する恐れがあります。
- 幌レバーの開閉時には指はさみにご注意ください。
- 幌の上に荷物を置いたり、荷重を掛けたりしないでください。

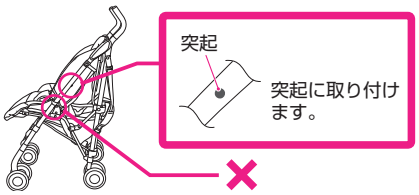
幌を取り付ける／取り外す

1 幌の前後の向きを確認する

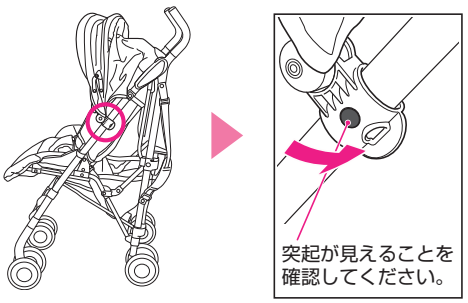


2 幌の取り付け位置を確認する

● 背面時は、上側の突起に取り付けます。



3 幌の左右の取付レバーの穴をベビーカーの取付部の突起に合わせてはめる

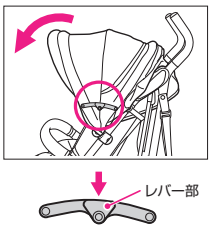


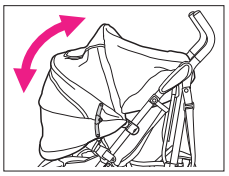
4 幌を取り外す時は、逆の手順を行う

幌を開く／閉じる

開く

1 幌を前に広げ、左右の幌レバーのレバー部を押し下げる



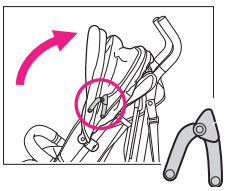


日差しの向きにより、幌を前後に動かすとお子様に日があたることを防げます。

閉じる

1 前方にある場合は幌をハンドル側に戻す

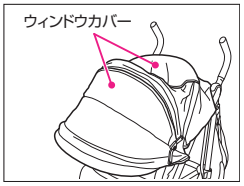
2 幌レバーのレバー部を引き上げ、幌を後側にまとめる



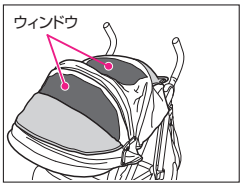
ウィンドウを開く

ウィンドウを開くと風通しが良くなります。背面位置で使用するときは、シート上のお子様の様子を見ることができます。

ハンドル側のウィンドウを開くときは、ウィンドウカバーの面ファスナーを外します。



ハンドル側のウィンドウを閉じるときは、ウィンドウカバーの面ファスナーを幌の面ファスナーにあわせます。



ストッパーの使い方（後輪のみ）

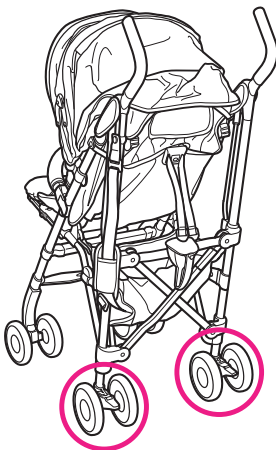
警告

ベビーカーの操作は必ず事前に平坦な路面でストッパーをロックしてから行ってください。
ロックしないと、操作中にベビーカーが動き出したり、転倒することによりお子様が落下したりする恐れがあります。また、第三者に危害を加える恐れがあります。

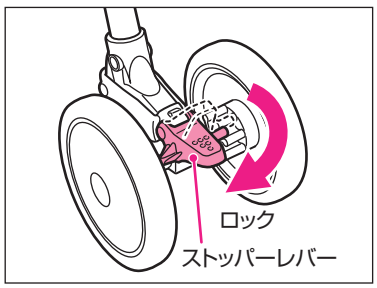
ストッパーをかける

警告

- ストッパーは、構造上、いかなる状態でもベビーカーを静止させることのできるものではありません。ストッパーをかけていても動き出す恐れがあります。
- お子様や荷物の有無に関わらず、ストッパーを過信せず、常にベビーカーから離れないでください。
- ストッパーは、両輪共にかけてください。片輪のみでは、ベビーカーが動き出したり、転倒したりする恐れがあります。



1 左右後輪のストッパーレバーを押し下げて、ロックする



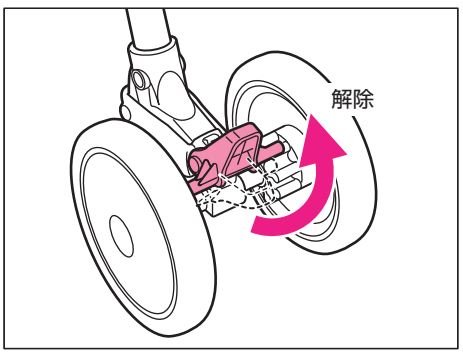
2 ベビーカーを軽く前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する

注意

ストッパーを掛けた状態で、無理に動かしたり、体重をかけて寄りかかるような行為は破損、転倒の恐れがあります。

ストッパーを解除する

1 左右後輪のストッパーレバーを押し上げて、ロックを解除する



キャスターの使い方

平坦な道路では、キャスターをフリーにすると車輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。

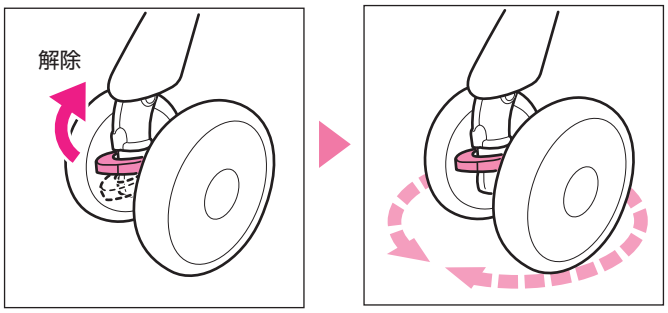
警告

凸凹道・坂道・傾斜面などの路面で走行するときには、キャスターを左右ともロックしてください。路面の状況によってはタイヤが思わぬ向きになり、ベビーカーが転倒したり、お子様が落下する恐れがあります。

キャスターをフリーにする

平坦な路面で走行する際には、左右ともキャスターのロックを解除し、フリーにしてください。

1 キャスターレバーを押し上げる

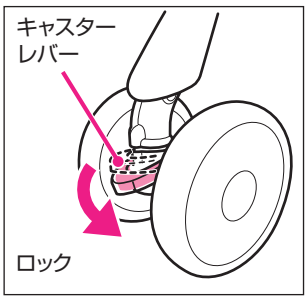


キャスターをロックする

凸凹道・坂道・傾斜面などの路面で走行する際には、左右ともキャスターをロックしてください。
直進性が高まり押しやすくなります。

1 キャスターレバーが進行方向を向くように、キャスターの向きを合わせる

2 キャスターレバーを押し下げてロックする



リクライニングの使い方

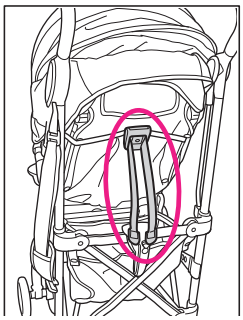
警告

- お子様を座らせたままリクライニング操作をする場合、背もたれを倒す前に必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- ベビーカーを押しながらリクライニングの操作をしないでください。バランスを崩す恐れがあります。

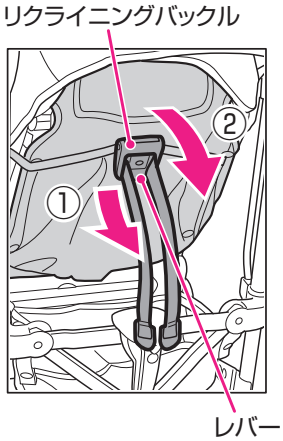
注意

- お子様を座面に座らせたままリクライニングを倒す操作をするときは、リクライニング角度が急に変わらないように、お子様の体重を手で支えながら行ってください。
- １人座りができないお子様の場合はリクライニングを倒して寝かせた状態で使用してください。
- お子様の頭がヘッドレストに当たる場合は、リクライニングを一番倒した状態で使用しないでください。
- 体重が背もたれに掛かった状態で無理にリクライニングを起こさないでください。故障の原因になります。

ベビーカー背面

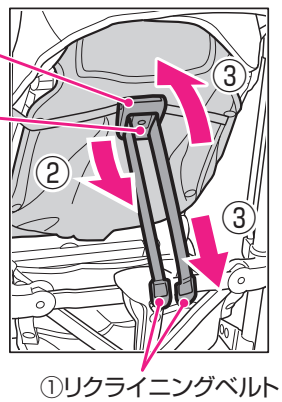


背もたれを倒すときは



1. お子様を座らせたままのときは、肩ベルトをゆるめる
2. ①リクライニングバックルのレバーを手前に引く
   ②リクライニングバックルをゆっくり引く
   - 急にリクライニング角度が変わらないように、もう一方の手でお子様の体重を支えます。
3. ちょうどよい角度で、リクライニングバックルを引くのをとめる
4. レバーから手をはなす

背もたれを起こすときは



1. 背もたれにお子様の体重がかからない状態にする
   - 体重がかかった状態では起こすことができません。
2. ①リクライニングベルトを持つ
   ②レバーを手前に引く
   ③リクライニングバックルをゆっくりと押しながら、ベルトを引く
3. ちょうどよい位置で、リクライニングレバーを引くのをとめる

シートベルト位置と長さの調整の仕方

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを合わせてシートベルトと呼びます。
シートベルトはお子様のベビーカー内での立ち上がりや落下を防止するものです。
ご購入時には、肩ベルトの位置を1カ月頃から後のお子様に適した位置（下段）に取り付けてあります。（お子様の成長は個人差がありますので月齢は目安です。）
このベビーカーは、肩ベルトの位置を下段・中段・上段の3段階に変更できます。お子様の落下事故はお子様の動きが活発になる生後6ヵ月頃から1歳未満の頃に発生しやすく、必ずお子様の成長に合わせて、位置を変更してください。

肩ベルトの位置調整

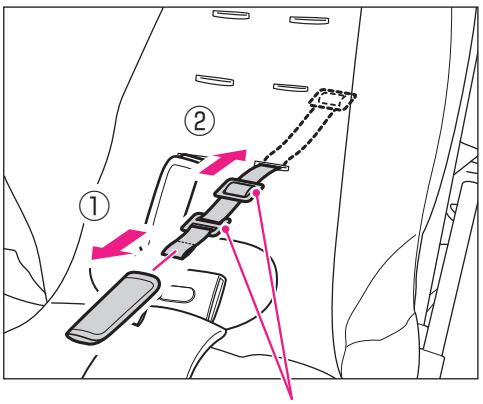
警告

低月齢（1ヵ月～2ヵ月頃）のお子様を乗せる場合は、下段の位置のまま、腰ベルト・肩ベルトをお子様に適した長さに調整してください。（P18参照）

上段・中段・下段、どちらへの変更も同じ方法で行えます。図は、下段→中段の場合です。

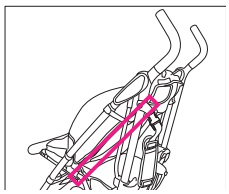
1 幌を取り外す

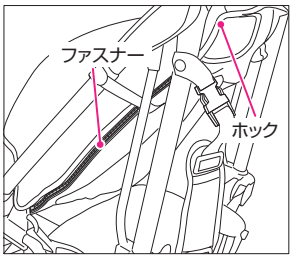
2 肩ベルトから肩ベルトカバーを抜く



※バックル2コを離れた状態にしておくと、
シートの穴を通しやすくなります。

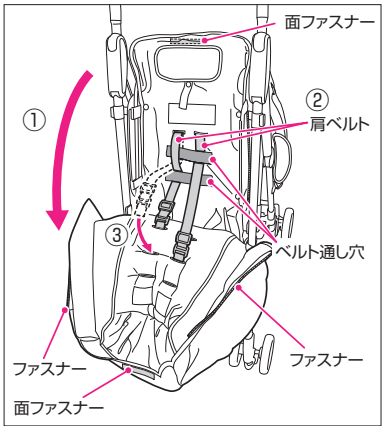
3 シート左右のファスナーと上部2ヵ所のホックを外す





4 ベースシートに留めてある面ファスナーを外し、シートをめくる

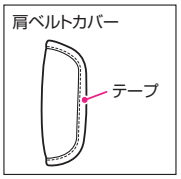
5 肩ベルトを中段の穴に差し替える
①肩ベルトをベルト通し穴から引き抜く
②ベースシート中段のベルト通し穴に肩ベルトを通してから、着脱シート中段の穴から肩ベルトを出す



6 着脱シートを取り付ける（P28の手順4参照）

7 肩ベルトカバーを肩ベルトに通す

● テープのない方をお子様側にしてください。

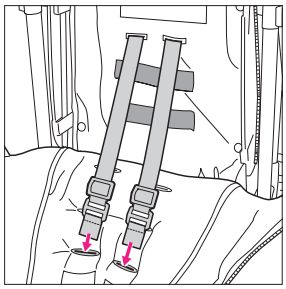


8 肩ベルトを前方に引っ張り、高さ違いやねじれがなく固定されている事を確認する

ベルト通し穴について

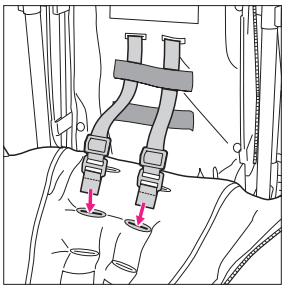
上段・中段・下段のそれぞれで、図のように肩ベルトをベルト通し穴に通します。

上段で使用する場合



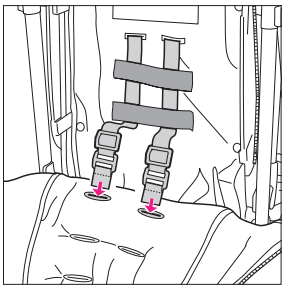
● ベルト通し穴には通しません。

中段で使用する場合



● 上のベルト通し穴に通します。

下段で使用する場合

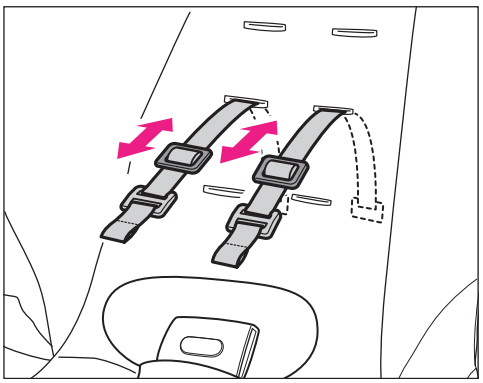


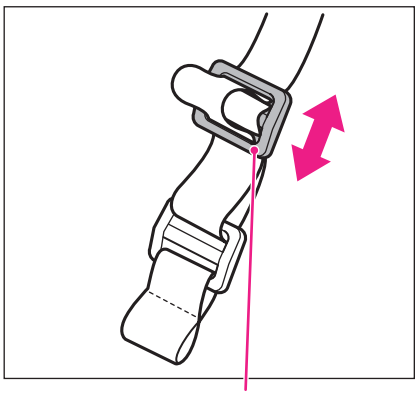
● 上下のベルト通し穴に通します。

肩ベルト、腰ベルトを調節する

肩ベルトの調整

バックルの位置を移動して、長さを調節します。

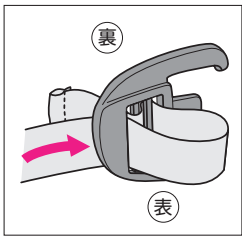




腰ベルトの調整　※ ベルトは、バックルとお子様のお腹の間に大人の指が1本入る程度の隙間で調整します。

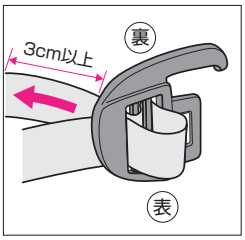
●締める

1 バックル表側にある腰ベルトを矢印の方向へゆるめる



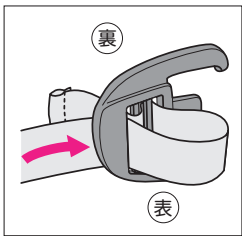
2 バックル裏側にある腰ベルトを矢印の方向に引っ張り、締めすぎないように固定する

- ベルト先端が3cm以上出るようにします。

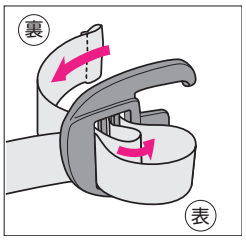


●ゆるめる

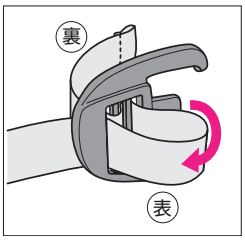
1 バックル表側にある腰ベルトを矢印の方向へゆるめる



2 バックル裏側にある腰ベルトを矢印の方向に押し込み、ゆるめる

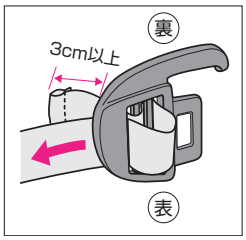


3 表側の腰ベルトを矢印の方向に引っ張り、内側の輪のたるみを無くす



4 表側の腰ベルトを矢印の方向に引っ張る

- ベルト先端が3cm以上出るようにします。



フロントガードの使い方（背面のみ）

警告

- コンテント プラスで対面インファントシートを取り付ける場合は、フロントガードは取り付けないでください。
- フロントガードの片側を外した状態でフロントガードを引っ張って使用したり、振り回したりしないでください。破損やケガの恐れがあります。
- フロントガードに過度の力を加えたり、必要以上に曲げたり、過度の衝撃を与えたりしないでください。
- ベビーカーをご使用の際は、必ずフロントガードカバーを取り付けてください。

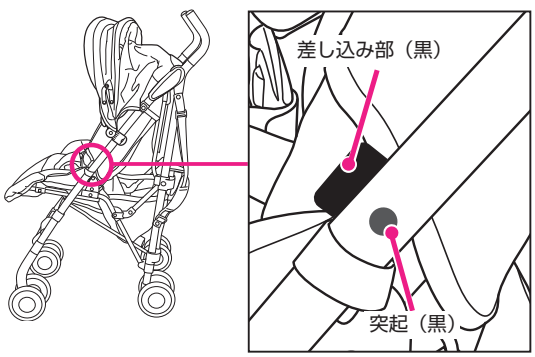
警告

- お子様を乗せたりおろしたりするときは、必ず事前に平坦な路面でストッパーをロックしてから行ってください。ロックしないと、操作中にベビーカーが動き出したり、転倒することによりお子様が落下したりする恐れがあります。また、第三者に危害を加える恐れがあります。
- お子様の乗せ降ろしはフロントガードの片側を開いて行ってください。手足や服などが引っかかり、ベビーカーが転倒したり、お子様が落下する恐れがあります。
- フロントガードはお子様の立ち上がりやズレ落ち、抜け出しを防ぐものではありません。お子様を乗せる際には必ずシートベルトを締めてください。
- 固定レバーはお子様に操作させないでください。フロントガードが急に外れることがあります。
- フロントガードを持ってベビーカーを持ち運ばないでください。フロントガードの破損、またはフロントガードが抜け落ちる恐れがあります。

フロントガードを取り付ける／取り外す

1 フロントガードの取り付け位置を確認する

- 左右のフレームにある黒の突起部（2ヵ所）が取り付け位置です。

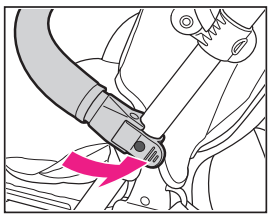


2 フロントガードを取り付ける

①フロントガード両端の固定レバーを開け、差し込み部の突起(黒)に端部を押し込む

②黒い突起にかぶせて固定する

- 左右両方を取り付けてください。



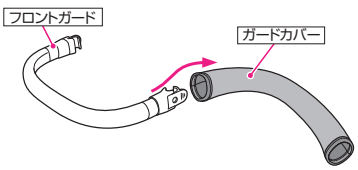
3 フロントガードを軽く引っ張って、ロックが外れないことを確認する

4 取り外す時は、左右の固定レバーを開けて取り外す

ガードカバーを取り外す

1 フロントガードの左右どちらかから、ガードカバーを引き抜く

- ベビーカーをご使用の際は、必ずガードカバーを取り付けてください。



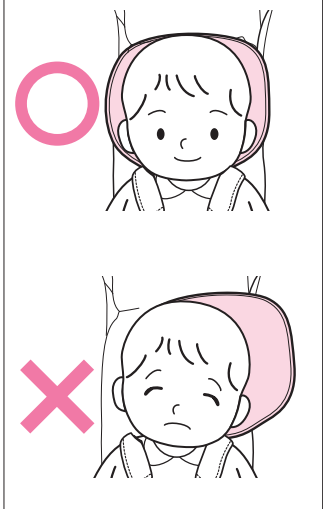
ガードカバーは、取り外して洗濯ができます。

ピローの使い方

ピローはリバーシブルになっています。ピローの白い面は、接触冷感素材を使用しています。暑い時は、白い面を使用すると冷たく感じます。季節や気温に合わせて表裏を使い分けてください。

（30℃以上の気温の場合は、冷たく感じない場合があります。寒い時期には、接触冷感素材の反対面を使用してください。）

ピロー　頭への当て方



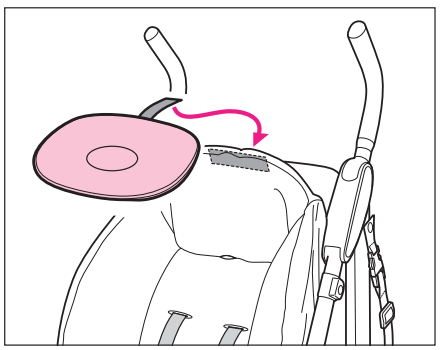
お子様の頭がピローの中心に合っている

お子様の頭がピローの中心に合っていない

ピローを取り付ける

肩ベルトの位置が上段の場合

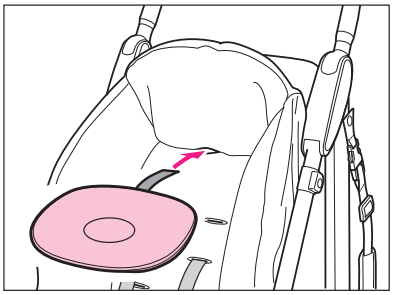
1 ピローの面ファスナーをシート上部の面ファスナーに取り付ける



肩ベルトの位置が中段・下段の場合

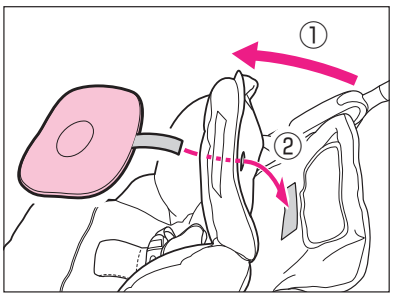
1 「シートの取り外し」の手順4、手順5-①（片側のみ）を行い、シートを取り外す（P27参照）

2 シート前面のピロー通し穴に取り付けベルトを通す



3 ベースシートの面ファスナーにピローの面ファスナーを取り付ける

- 対面インファントシートの取付フックを上げて、面ファスナーに取り付けてください。



4 シートを取り付ける（P28の手順4参照）

5 ピローの位置がお子様の頭の中心になるように微調整する

足のせバーの使い方

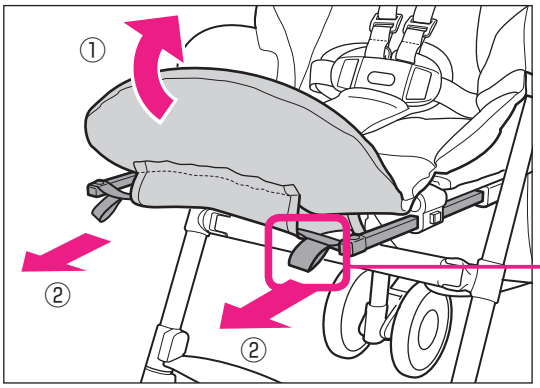
足のせバーを使うと、お子様が寝たときに、足を伸ばす姿勢にできます。

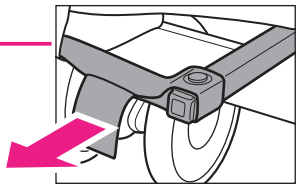
警告

お子様を足のせバーの上に立たせないでください。落下する恐れがあります。

注意

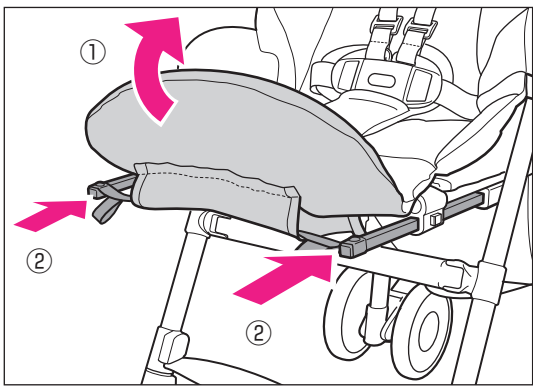
足のせバーに重いものを乗せたり、掛けたりしないでください。故障の原因になります。





1. ①シート前方を持ち上げ、②収納されている足のせバーの両側を持ち、引き出す
2. いっぱいに引き出したら、シートを元に戻す
3. シート裏の布カバーを足のせバー中央部を覆うようにかぶせて面ファスナーに固定する

足のせバーを戻すには



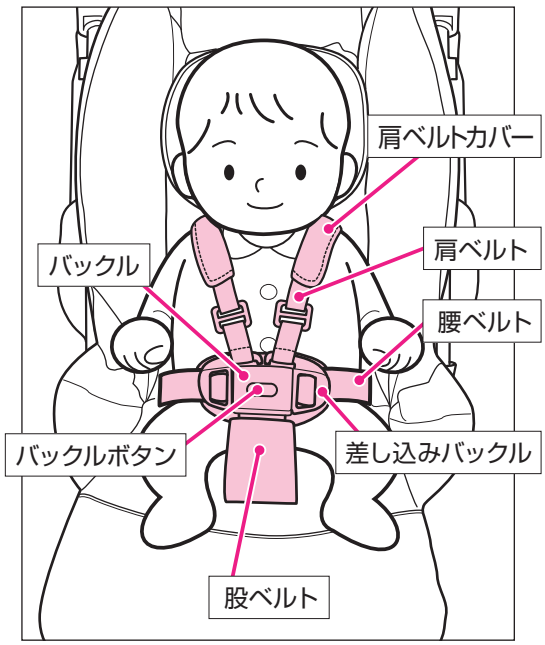
1. ①シート前方を持ち上げ、②足のせバーの両側を持ち、押し込む
2. シートを元に戻す

シートベルトの使い方

警告

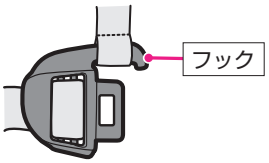
- お子様を乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。バックルを差し込まなかったり、シートベルトの締めかたが不完全だったりすると、お子様が落下する恐れがあります。
- 肩ベルトカバーを必ず着用してください。
- 肩ベルトは左右を交差させないでください。お子様の首を圧迫する恐れがあります。
- シートベルトはお子様の体に合わせて調節を行い、締めすぎやねじれ、ゆるみがないように締めてください。
- シートベルトを締めていても、お子様の抜け出しや、立ち上がりには十分に注意してください。個人差がありますので、シートベルトはいかなる場合でも抜け出しや立ち上がりを防止できるものではありません。常に目を離さないようにご注意ください。
- バックルボタンやベルトをお子様が操作しないように注意してください。
- 洗濯などでシートベルトを取り外した場合は、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。取り付け方が不完全な場合、使用中にベルトやバックルが抜ける恐れがあります。取り付け後に引っ張って抜けないことを確認してください。

シートベルトを締める

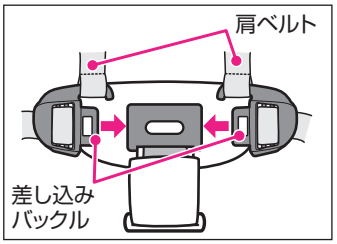


1 お子様の股の間から股ベルトを通す

2 肩ベルトを差込みバックルのフックに取り付ける



3 差し込みバックルをバックルにしっかり差し込む

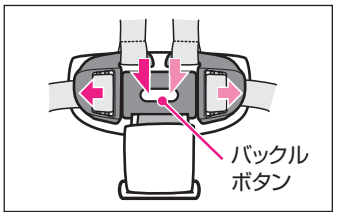


4 腰ベルトの腰側、股ベルトを引っ張って、バックルが外れないことを確認する

シートベルトを外す

1 バックルボタンを押す

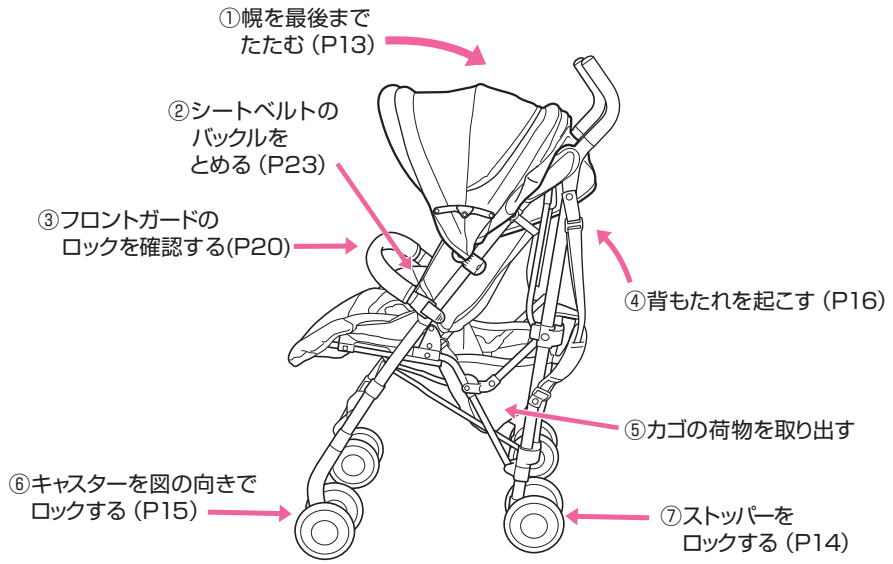
- バックルボタンは中央部ではなく、差し込みバックルを外す側を押してください。中央部を押した場合は、左右の差し込みバックルが外れない場合があります。



ベビーカーの折りたたみ方

幌などを元の位置に戻す

ベビーカーを折りたたむ前に各部を元の位置に戻します（操作はそれぞれの説明ページを参照）。



注意

- お子様がそばにいないことを確認してください。
- かごに荷物が入っていないことを確認してください。
- 折りたたむときに、引っかかりや挟み込みなどを感じたら、折りたたむのをいったん止めて、荷物や玩具、シートベルトなどが引っかかっていないかを確認してください。無理に折りたたむと故障の恐れがあります。
- 小型車のトランクには収納できない場合があります。幌が壁面に当たる場合は、幌を取り外してください。
- 折りたたみ操作時に後輪を浮かせた場合、前輪がすべる場合がありますので、転倒には十分注意してください。

1 ベビーカーの後ろに立ち

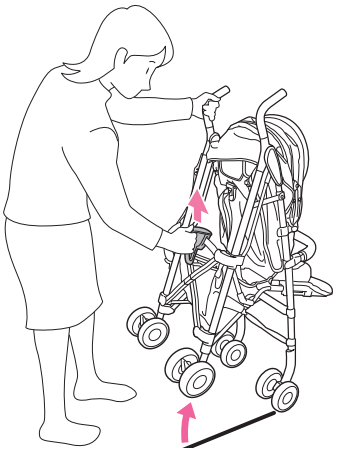
①前輪のキャスターをロックする

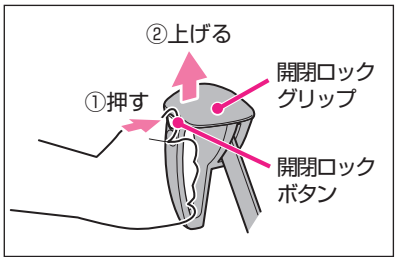
②片手でハンドルを持ち、前輪を支点に後輪を浮かせる

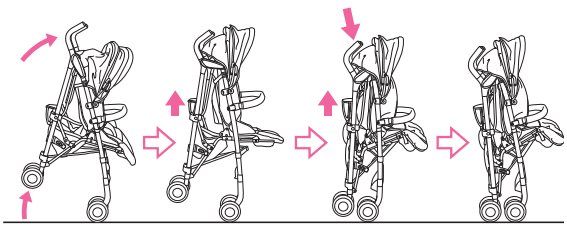
③開閉ロックグリップを握り、

④開閉ロックボタンを押したままで、開閉ロックグリップを持ち上げる

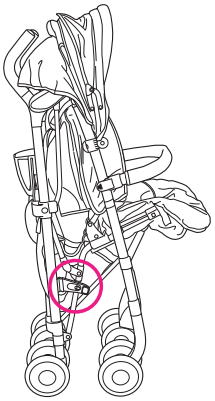
⑤開閉ロックグリップを持ち上げるのと同時に、ハンドルを下に押し下げる様にするとスムーズに折りたたむことができます。







2 左側面の開閉フックが完全にかかっていることを確認する



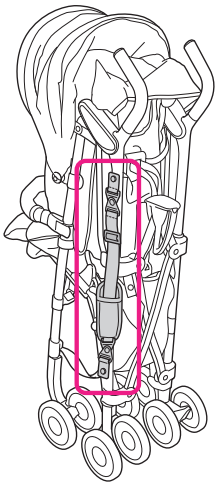
ショルダーストラップの使い方、取り外し方

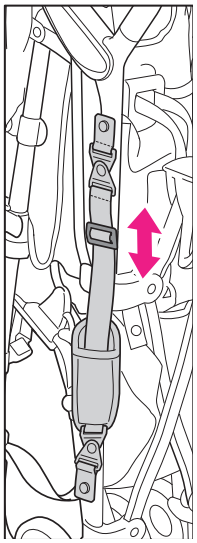
警告

- ベビーカー走行時は、ショルダーストラップを1番短い状態にしてください。ベビーカーが突起物などに引っかかり、転倒・お子様が落下する恐れがあります。
- ベビーカーの周りで小さいお子様を遊ばせないでください。ショルダーストラップ等に引っかかり、転倒する恐れがあります。

ショルダーストラップの長さを調節する

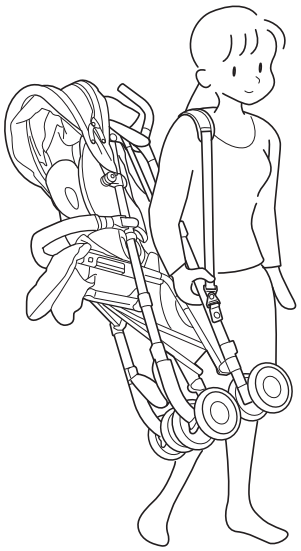
ベルト調整ラダーの位置を移動して、長さを調節します。





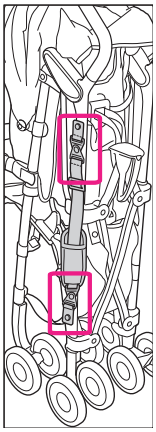
ベビーカーのかつぎ方

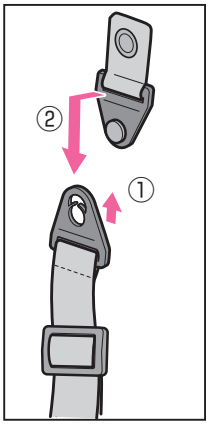
タイヤが脚の前にくるように肩にかけます。



ショルダーストラップの取り外し

ご使用にならない場合は、下図のようにショルダーストラップを取り外すことができます。
上下ともに取り外してください。





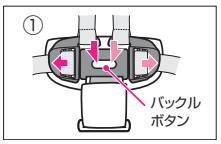
シートの取り外し方、取り付け方

警告

- やぶれ・すり切れ・ほつれなどの発生したシートやベルトはそのまま使用しないでください。縫製品本来の機能を果たせないばかりでなく、お子様に危害がおよぶ可能性があります。
- シートの取り付けは本書の指示に従い、確実に行ってください。取り付けが不完全な場合、お子様が落下したりシートやベルトが損傷する恐れがあります。
- シートを外したままお子様を乗せないでください。手足を挟んだりケガをする恐れがあります。

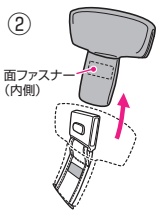
取り外す

1 幌を取り外す(P13)

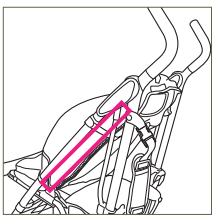


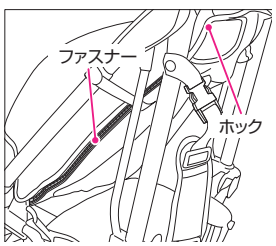
2 フロントガードを取り外す(P20)

3 ①バックルボタンを押して、差し込みバックルを外し、肩ベルトを外す
②股ベルトカバー内側の面ファスナーを外し、股ベルトカバーを引き抜く

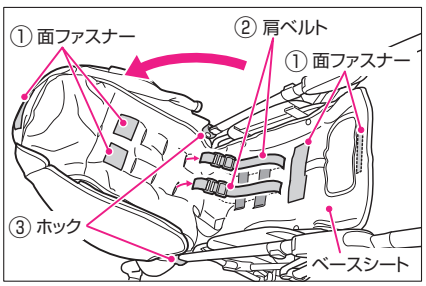


4 シート左右のファスナーと上部2ヵ所のホックを外す

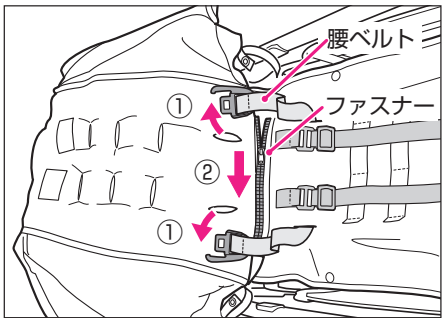




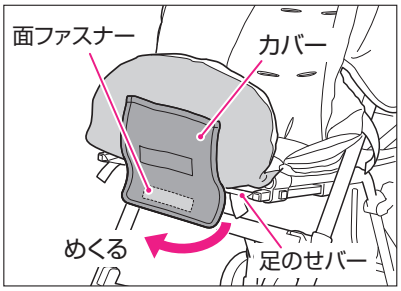
5 シート上部をベースシートから外す
①ベースシートに留めてある面ファスナーを外し、シートをめくる
②肩ベルトカバーを抜いてから肩ベルトをシートから抜く
③ベースシートに留めてある左右のホックを外す



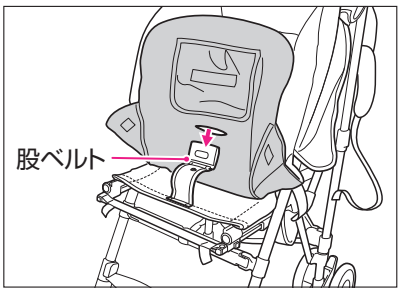
6 シート下部をベースシートから外す
①左右の腰ベルト・差し込みバックルをシートから引き抜く
②ファスナーを開いて外す



7 シート前面をめくり、足のせバーを覆っているカバーの面ファスナーを外す

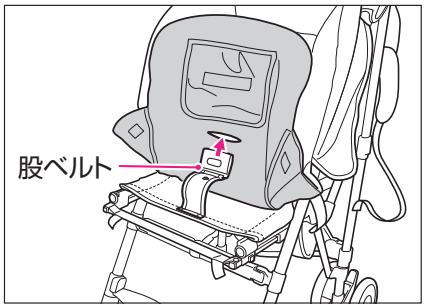


8 シート前面をめくり、股ベルト・バックルをシートから引き抜く



取り付ける

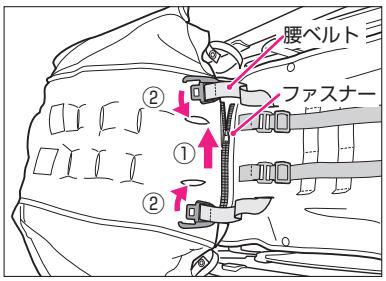
1 シートの裏表を確かめ、股ベルト・バックルをバックル用開口部に通す



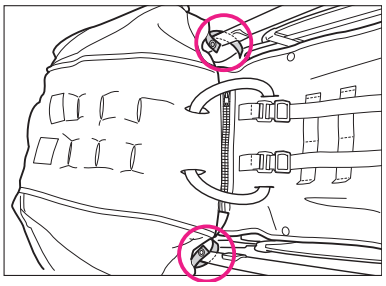
2 シート下部をベースシートに取り付ける

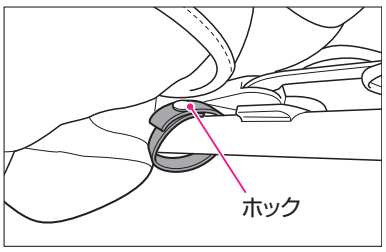
①シート裏面のファスナーをベースシートのファスナーにセットしてしめる

②腰ベルト・差し込みバックルをシート左右の開口部に通す



3 シートの左右2ヵ所のホックを前脚に留める





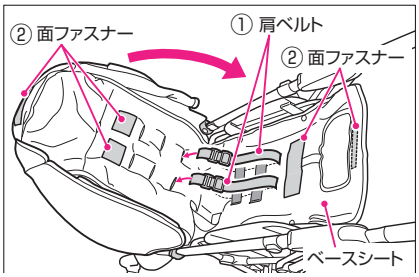
4 シート上部をベースシートにかぶせる

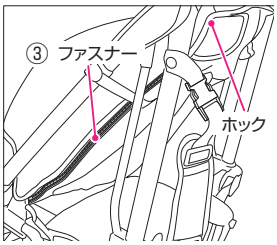
①肩ベルトを2本ともシートの穴に通す

②シートをベースシートにかぶせ、面ファスナーの位置を合わせて取り付ける

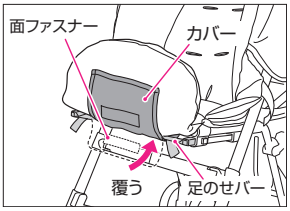
③シート左右のファスナーをセットして、上部2ヵ所のホックを留める

● 肩ベルトはお子様の肩の高さに合わせて左右同じ高さの穴に通してください。





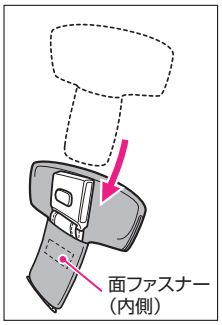
5 シート前面をめくり、足のせバーをカバーで覆い、面ファスナーで留める



6 肩ベルトカバーを肩ベルトに通す

7 股ベルトカバーを股ベルトに通し、股ベルトカバー内側の面ファスナーを留める（右図参照）

8 取り付け後、シートを軽く手で動かし、フック・ホック・ベルトが外れていないか確認する

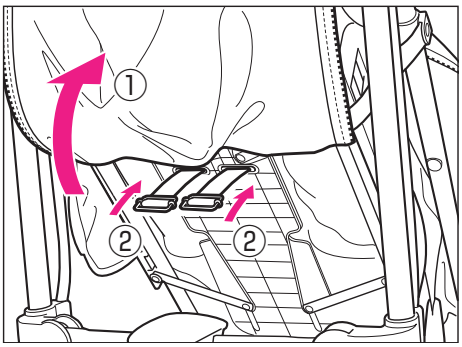


肩ベルト・腰ベルトの取り外し方、取り付け方

肩ベルトを取り外す

1 P17の手順1～手順3を行う

2 肩ベルトを取り外す
①シート背面をめくる
②肩ベルトを背板の穴に通して、表側に引き抜く



肩ベルトを取り付ける

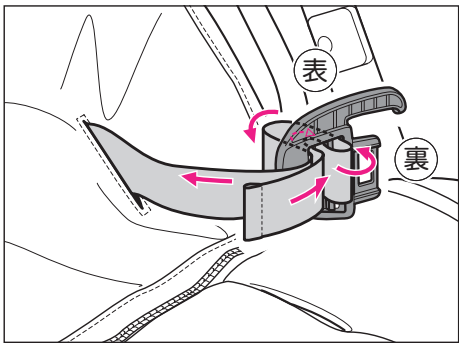
1 左記の手順2-②とは逆に、ベースシートの表面側から肩ベルトを通す（肩ベルトの向きに注意してください）

2 P17の手順3、手順2、手順1の順に、シートの背部、肩ベルトカバー、幌を取り付ける

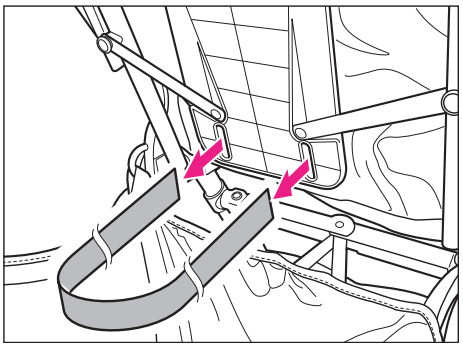
腰ベルトを取り外す

1 P27の手順1～6-①を行う

2 腰ベルトのバックルを取り外す



3 ベースシート背面の穴から腰ベルトを抜く



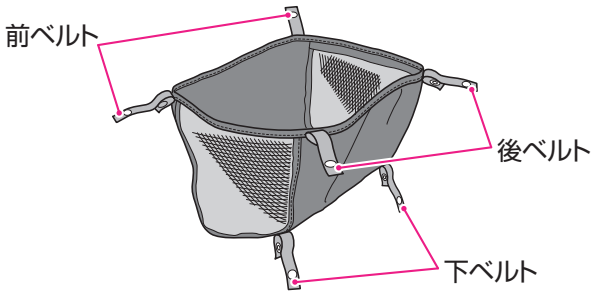
カゴの使い方、取り外し方、取り付け方

警告

5kg以上の荷物は乗せないでください。カゴが破損する恐れがあります。また、ベビーカーがバランスを崩して転倒し、お子様が落下する恐れがあります。

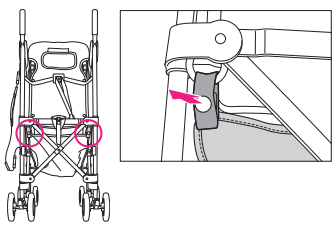
注意

- カゴは洗濯機での洗濯はできません。お手入れの方法はP43を参照してください。
- 割れ物、ビン類は入れないでください。走行中の衝撃などで破損する恐れがあります。
- 角のとがったものやカゴからはみ出すものは入れないでください。カゴの変形、破れの原因になります。
- カゴの底に均等に荷重が加わるように荷物を載せてください。

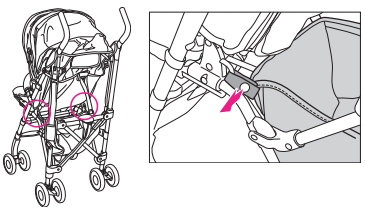


取り外す

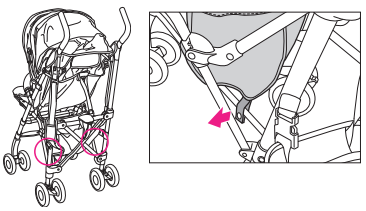
1 後ろベルト(左右)のホックを外す



2 前ベルト(左右)のホックを外す

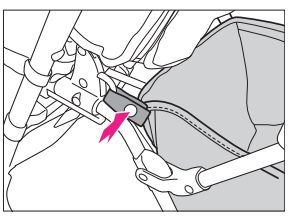


3 前ベルト(左右)のホックを外す

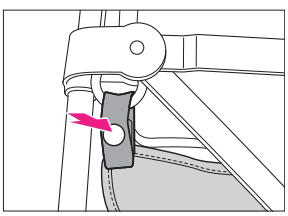


取り付ける

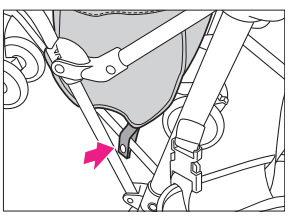
1 前ベルト(左右)のホックを固定する



2 後ろベルト(左右)のホックを固定する



3 下ベルト(左右)のホックを固定する



対面座席の使用(対面インファントシートの取り付け方)

警告

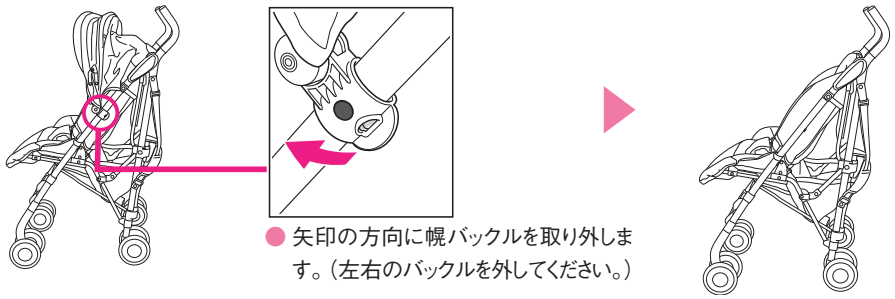
- 対面フルリクライニングとして利用できるのは、お子様が1ヵ月～3ヵ月の間のみです。それ以外の時期は、通常の背面式A形ベビーカーとしてご使用ください。
- 対面インファントシート使用時は、シートベルトを締めている場合であっても、ベビーカーを過度に傾けないでください。
- お子様が乗った状態では、カゴの荷物の出し入れなどで背もたれを起さないでください。

対面インファントシートを取り付ける

対面インファントシート使用時は、フロントガードは使いません。フロントガードが取り付けられている場合は、外して大切に保管してください。

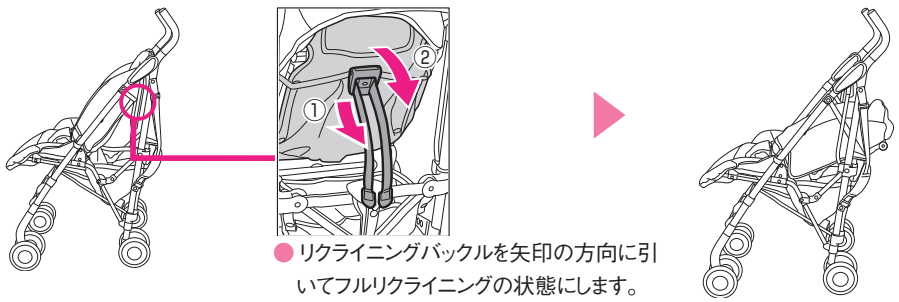
1 幌を取り外す

● 幌を前方へ倒します。



● 矢印の方向に幌バックルを取り外します。(左右のバックルを外してください。)

2 リクライニングをフルリクライニングの状態に倒す



● リクライニングバックルを矢印の方向に引いてフルリクライニングの状態にします。

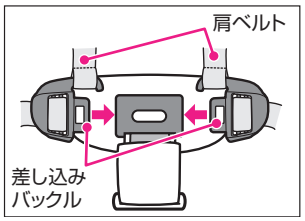
3 足のせバーを伸ばす

● シートを上げて、左右のツマミを引っぱり、足のせバーを伸ばします。

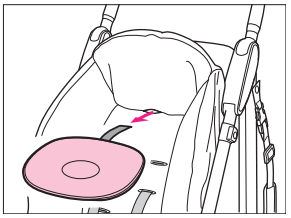
● シートを戻します。

4 背面使用時のシートベルトを締め、ピローを取り外す

● 幌梱包時は対面インファントシートにピローが取り付けられています。開梱後すぐに対面インファントシートを取り付ける場合は、本項目は不要です。

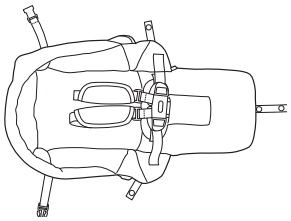


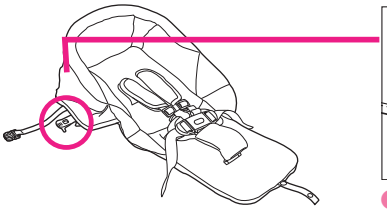
● 差し込みバックルをバックルにしっかり差し込み、左右に軽く引っ張りバックルが抜けない事を確認します。

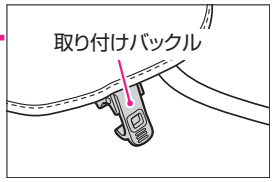


● ピローを取り外します。（P21）

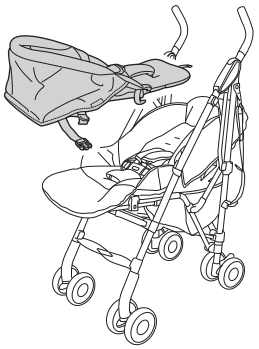
5 対面インファントシートを取り付ける



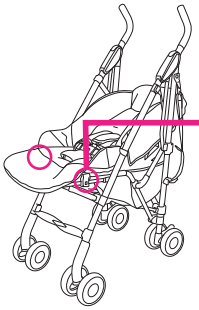


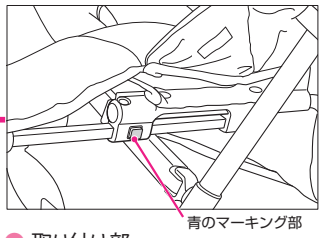


● 左右の取り付けバックルをはめ込みます。

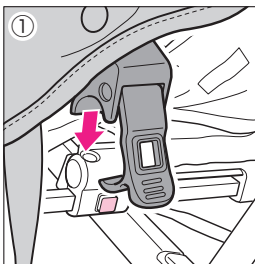


● 対面インファントシートの向きを確認してください。対面インファントシートの頭部側がベビーカー前輪側になります。

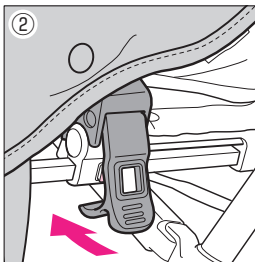




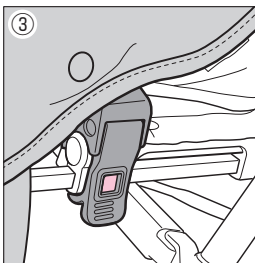
● 取り付け部



● 取り付けバックルを差し込みます。

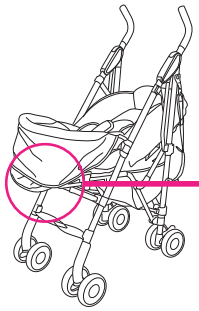


● バックルを最後まで倒し、軽く引き上げて抜けない事を確認します。

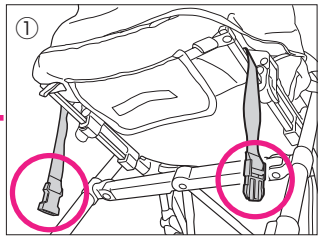


● マーキング部分がしっかりはまっていることを確認してください。

6 座固定ベルトを取り付ける

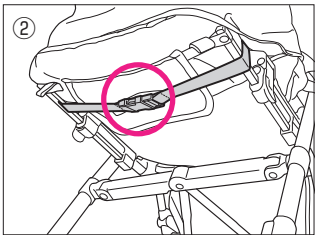


下から見た図

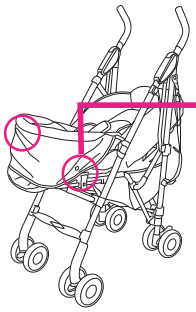


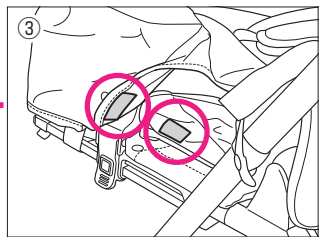
● 左右の座固定ベルトのバックルをシート下面で留めます。

下から見た図



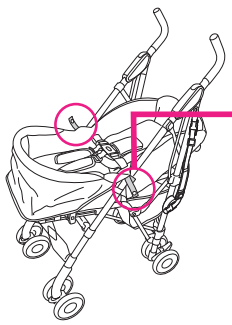
● 左右の座固定ベルトのバックルを留めて、対面インファントシートを固定します。

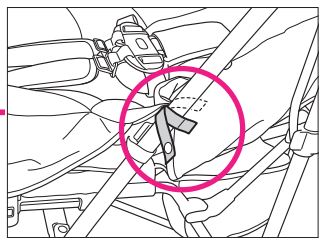


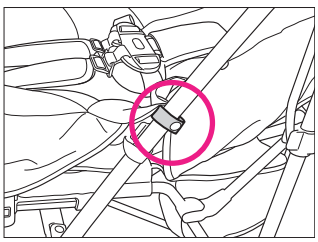


● 左右の面ファスナーを固定します。

7 前脚ベルトを取り付ける

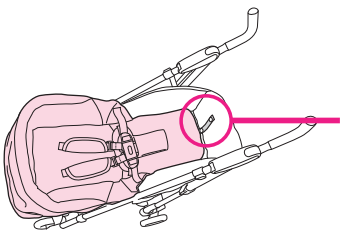


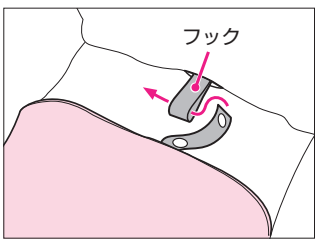




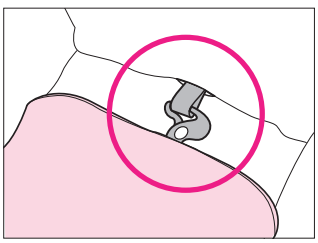
● 前脚ベルトをフレームに回し、ホックを留めます。

8 シート固定ベルトを取り付ける





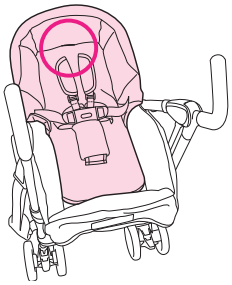
● フックを着脱シートの穴から引き出してください。
（フックはベースシート側に付いています。）

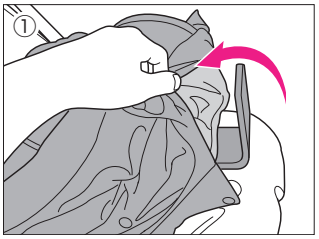


● シート固定ベルトをフックに通し、ホックを留めます。

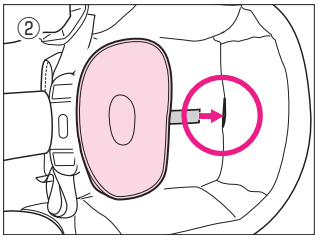
9 ピローを取り付ける

● 幌梱包時は対面インファントシートにピローが取り付けられています。
開梱後すぐに対面インファントシートを取り付ける場合は、本項目は不要です。

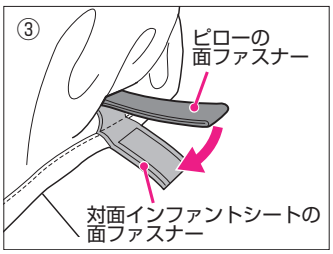




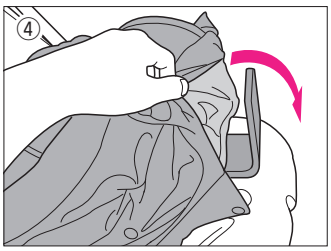
● 対面インファントシートのカバーをめくります。



● 取り付け穴にピローの面ファスナーを通します。



● ピローの面ファスナーを対面インファントシートの面ファスナーに取り付けます。



● 対面インファントシートのカバーを戻します。

10 対面インファントシートが確実に取り付けられていることを確認する

● 対面インファントシートを持ち上げ、確実に取り付けられていることを確認してください。

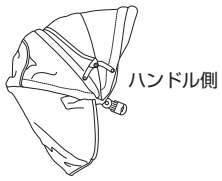
幌の取り付け方（対面使用時）

注意

- ベビーカーの折りたたみは必ず幌を折りたたんでから行ってください。開いたまま無理に折り畳むと、幌が破損する恐れがあります。
- 幌レバーの開閉時には指はさみにご注意ください。
- 幌の上に荷物を置いたり、荷重を掛けたりしないでください。

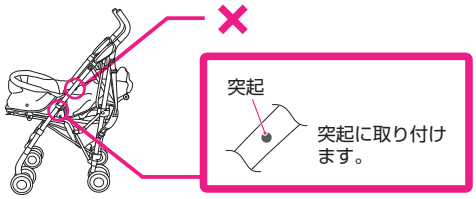
取り付ける

1 幌の前後の向きを確認する

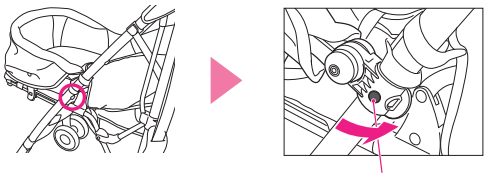


2 幌の取り付け位置を確認する

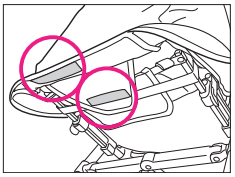
● 対面時は、下側の突起に取り付けます。



3 幌の左右の取付レバーの穴をベビーカーの取付部の突起に合わせてはめる



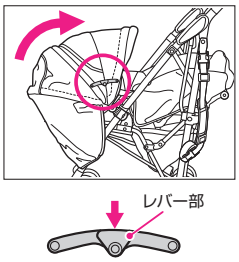
4 幌の面ファスナーを足受け裏面にまわし、面ファスナーに合わせて留める

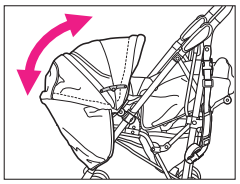


幌を開く／閉じる

開く

1 幌をハンドル側に広げ、左右の幌レバーのレバー部を押し下げる

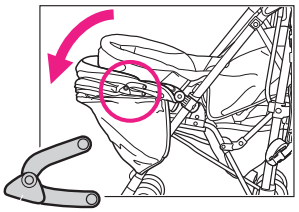




日差しの向きにより、幌を前後に動かすとお子様に日があたることを防げます。

閉じる

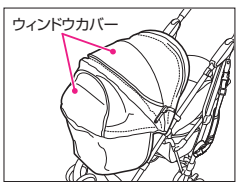
1 幌を前輪側に戻し、幌レバーのレバー部を引き上げ、幌をまとめる



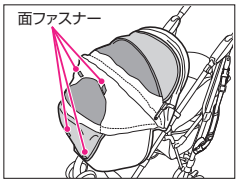
ウィンドウを開く

ウィンドウを開くと風通しが良くなります。

ウィンドウカバーを開く時は、幌後方の面ファスナーを外します。



閉じるときは、ウィンドウカバーの面ファスナーを幌の面ファスナーにあわせます。

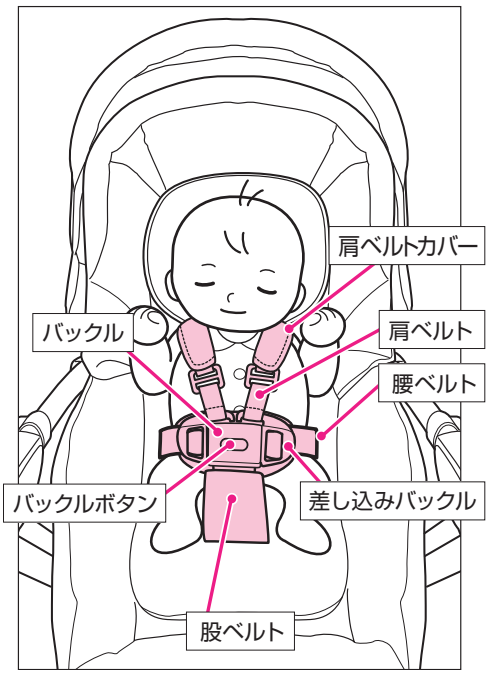


シートベルトの使い方（対面使用時）

警告

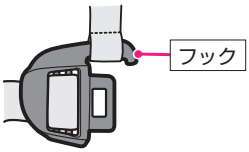
- お子様を乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。バックルを差し込まなかったり、シートベルトの締めかたが不完全だったりすると、お子様が落下する恐れがあります。
- 肩ベルトカバーを必ず着用してください。
- 肩ベルトは左右を交差させないでください。お子様の首を圧迫する恐れがあります。
- シートベルトはお子様の体に合わせて調節を行い、ねじれやゆるみが無いように締めてください。
- シートベルトを締めていても、お子様の抜け出しや、立ち上がりには十分に注意してください。個人差がありますので、シートベルトはいかなる場合でも抜け出しや立ち上がりを防止できるものではありません。常に目を離さないようにご注意ください。
- バックルボタンやベルトをお子様やお子様が操作しないように注意してください。
- 洗濯などでシートベルトを取り外した場合は、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。取り付け方が不完全な場合、使用中にベルトやバックルが抜ける恐れがあります。取り付け後に引っ張って抜けないことを確認してください。（肩・股ベルトは取り外しできません。）

シートベルトを締める

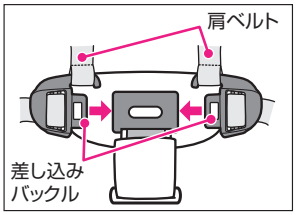


1 お子様の股の間から股ベルトを通す

2 肩ベルトを差込みバックルのフックに取り付ける



3 差し込みバックルをバックルにしっかり差し込む



4 肩ベルト・腰ベルトを調整する

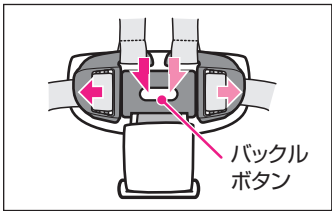
- ベルトはバックルとお子様のお腹の間に、大人の指が1本入る程度の隙間で調整します。

5 腰ベルト、股ベルトを引っ張って、外れないことを確認する

シートベルトを外す

1 バックルボタンを押す

- バックルボタンは中央部ではなく、差し込みバックルを外す側を押してください。中央部を押した場合は、左右の差し込みバックルが外れない場合があります。



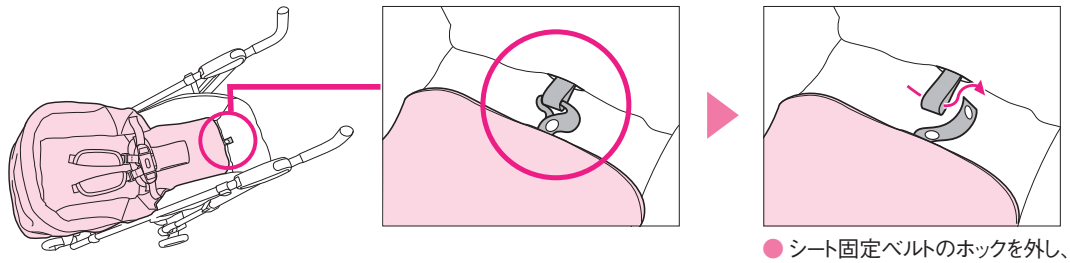
対面インファントシートの取り外し方

取り付けとは逆の手順で、対面インファントシートを取り外します。

1 幌を取り外す

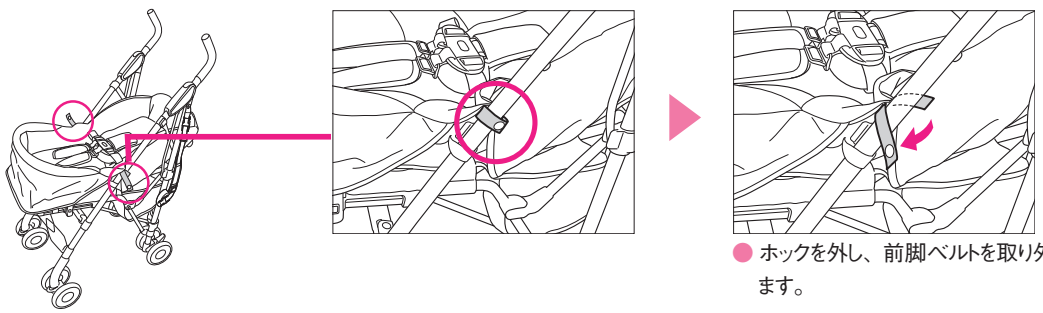
● 矢印の方向に幌バックルを取り外します。（左右のバックルを外してください。）

2 シート固定ベルトを取り外す



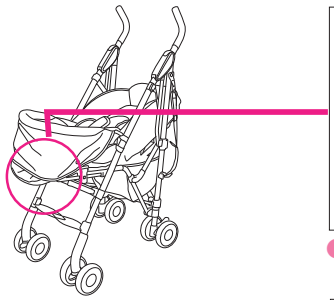
● シート固定ベルトのホックを外し、フックからベルトを抜きます。

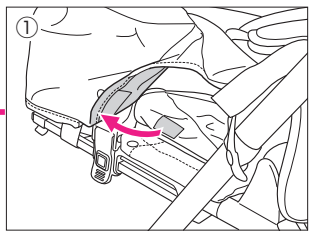
3 前脚ベルトを取り外す



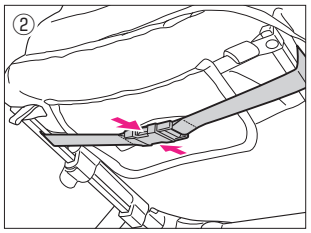
● ホックを外し、前脚ベルトを取り外します。

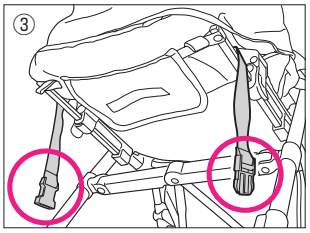
4 座固定ベルトを取り外す





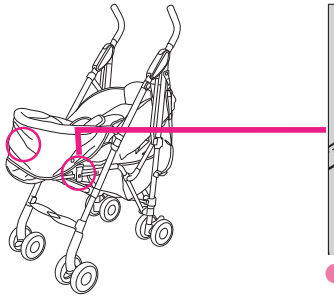
● 左右の面ファスナーを外します。

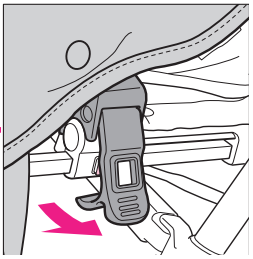




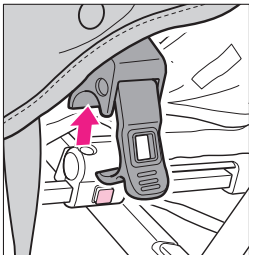
● 足受け裏面で留めてある座固定ベルトのバックルを外します。

5 対面インファントシートを取り外す



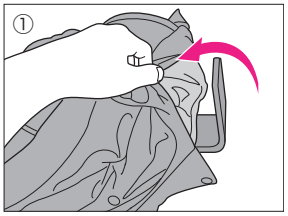


● バックルを外側に倒し、ロックを外します。

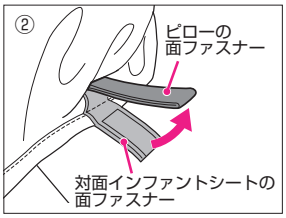


● 対面インファントシートを持ち上げて、取り外します。

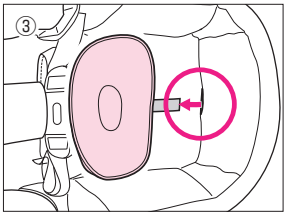
6 ピローを取り外す



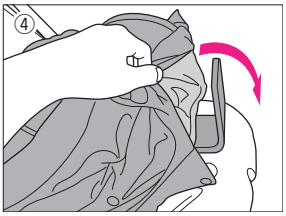
● 対面インファントシートのカバーをめくります。



● ピローの面ファスナーを対面インファントシートの面ファスナーから取り外します。

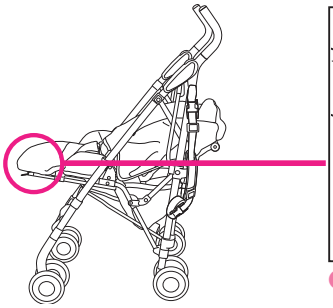


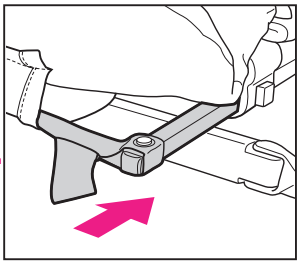
● 取り付け穴からピローの面ファスナーを引き出します。



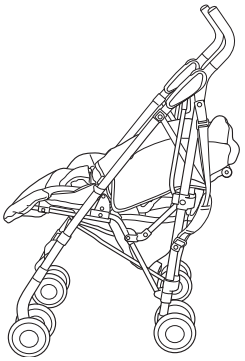
● 対面インファントシートのカバーを戻します。

7 足のせバーを戻す





● シートを上げて、左右のプラスチック部を押して、足のせバーを戻します。



● シートを戻します。

保管のしかた

注意

- 火の近くや高温になる場所、日光が常に当たりつづける場所、雨や水のかかる場所、湿気の多い場所での放置・保管は行わないでください。故障・変形・カビ発生の原因となります。特に夏季車中での保管にご注意ください。
- ベビーカーの上に荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管したりしないでください。故障・変形の原因となります。
- 雨や水のかかる所に放置しないでください。シートの損傷やサビ、カビの発生の原因となります。
- ベビーカーの保管は直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所をお選びください。やむなく屋外で保管する場合はカバーをお掛けください。
- 車のトランクなど横に置く場合は、背面を下にしてください。また、幌が壁面に当たらないようにしてください。変形の恐れがあります。

日常点検について

●結合部分のゆるみ、部品の欠損および動作不良などの異常がないか適時点検してください。

警告

- 危険ですから、むやみに改造や分解はしないでください。
- お手入れの際に取り外した部品は、本書をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。また、取り外したまま放置しないでください。小さな部品は、お子様が誤飲する危険があります。

ご使用中にベビーカーが破損したり、次のような状態になった場合には、ただちに使用を中止してください。

- タイヤが磨耗により残りが5mm程度の厚さまで減ったとき。
  （車輪は消耗品ですので交換が必要です。交換は修理センターで有償で行います。）
- ネジ・リベットや車輪のゆるみ、シートベルトの破れ・切れ・ほつれが生じたとき。
- あきらかに操作性に異常を感じた時や、走行に障害を感じたとき。
- 車体が変形したり、パイプの曲がりや損傷が生じたとき。
- フロントガードや幌など、取り外し可能な付属部品を紛失したとき。
- プラスチック部品や金属部品のひび割れや変形・破損が生じたとき。

注油

きしみなどの異音が発生したり、動作が滑らかでなくなったりした場合は、市販の潤滑油（シリコーン系）を少量（1カ所2～3滴）注油してください。注油量が多すぎると、ホコリが付着して逆に機能を低下させる恐れがあります。

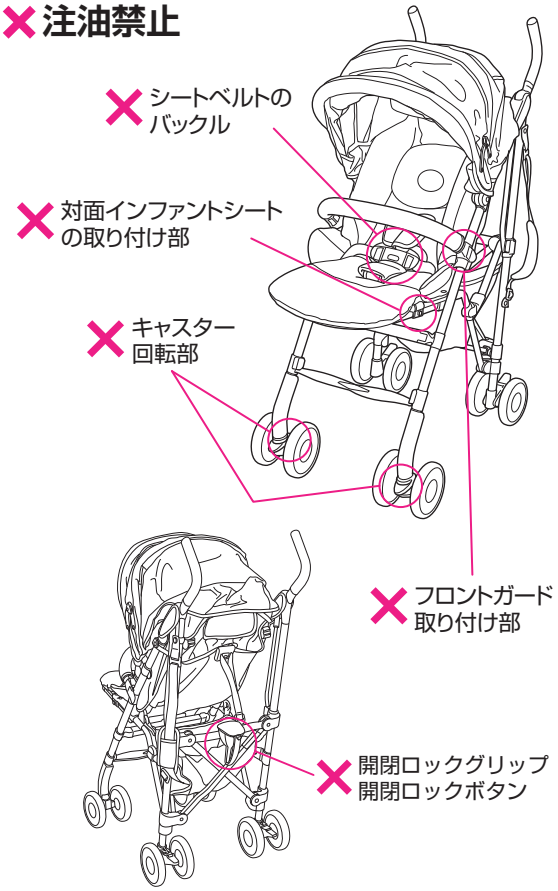
警告

シートベルトのバックル、フロントガードの取り付け部、開閉ロックボタン、開閉ロックグリップ、キャスター回転部には注油しないでください。動作不良を起こす恐れや、バックルやフロントガードが不意に外れてお子様が落下する恐れがあります。

注意

お子様が触れたりなめたりする恐れのある縫製品やフロントガードには油がつかないように注意してください。万一ついてしまった場合は、油をしっかり拭き取ってから使用してください。

×注油禁止



清掃

車体の清掃について

使用前にタイヤやフレームについた、泥、ホコリなどはよく絞った濡れタオルなどを使ってきれいに拭き取ってください。
汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を含んだ布で拭いてください。中性洗剤が残らないよう、よく絞った濡れタオルなどを使ってきれいに拭き取ってください。

注意

- 定期的に清掃を行ってください。車体に泥やホコリなどがついたままで使用しないでください。
- 車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化、退色の原因になります。

縫製品の洗濯

快適にご使用いただくために、汚れたら洗濯してください。

注意

- ●製品の特性上、ご使用方法によっては若干色落ち・色あせすることがあります。
- ●一般の洗濯用洗剤が使用できますが、蛍光漂白剤入りの洗剤の使用は避けてください。
  事前に洗剤の注意書きもお読みください。
- ●保管の状態により、着脱シートにカビが発生することがあります。
  こまめに洗濯をして清潔に保つよう心がけてください。

●着脱シート、フロントガードカバー、肩ベルトカバー、股ベルトカバー、ピローの洗濯

丸洗いができますが、洗濯機は使わず、下記の方法に従って洗濯してください。

洗濯機は使用できません。液温を30℃以下にしてやさしく手洗いしてください。

アイロンをかけないでください。

絞らないでください。洗濯後は十分にすすぎ、かるく脱水します。

漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使用しないでください。

ドライクリーニングをしないでください。

乾燥機は使用しないでください。洗濯したものを干す時は、形を整えて日陰に平干ししてください。

●幌、カゴ、シートベルト(股/腰/肩)、対面インファントシートの洗浄

注意

部品の取り外しを行う際は、シート取り付け部、ガード差込口、幌の差込口などで怪我をしないように注意してください。

丸洗いはできません。以下の方法で洗浄してください。

- ・液中にはつけず、液温30℃以下の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れを拭き取ってください。
- ・洗剤を使用して汚れを取ったあとは、水を含ませた布やスポンジで洗剤成分が残らないように数回拭き取ってください。
- ・乾かすときは、乾いた布で水分を拭き取り、陰干ししてください。

●ベースシート(P27参照)の洗浄

注意

ベースシートは洗濯できません。布などで汚れを拭き取るだけにしてください。濡らしてしまった場合は十分に乾燥させ、中の水分を取り除いてください。

洗濯ができませんので、よく絞った布などで汚れを拭き取るだけにしてください。

廃棄方法について

お住まいの各自治体の廃棄方法に従って処分してください。
（環境保護のため、適正な廃棄をせずに放置することはおやめください。）

アフターサービス

以下の場合には、ただちにご使用を中止し、製品名、シリアル番号（右後脚下部に貼付のシールに記載）をご確認の上、お買い上げの販売店または、当社修理センターまでご連絡ください。
そのまま使用しますと、重大な事故につながる恐れがあります。
・ご使用中に故障などが発生した場合
・点検中に破損などを発見した場合
・部品の交換、修理の必要が生じた場合
・その他異常を感じた場合
保証期間中（お買い上げ日より1年間）に、部品の欠品、加工不良など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定に基づき無償修理いたします。
保証期間を終了した場合の修理、部品販売については有償にて承ります。
ご購入日より１年以上経過した製品の修理においては製品修理箇所以外の品質保証はいたしかねます。修理箇所の保証期間は３ヵ月です。
製品のご購入後３年間は修理を申し受けますが、修理必要部品の在庫がなくなった場合には、修理ができないことがあります。部品の保有期間は、製造中止後３年間です。ただし、３年以内であっても、部品の色・柄などについては、ご希望に添えない場合があります。

○ ご使用開始後、５年間を経過した製品については、ご使用を中止してください。

SGマーク被害者救済制度

SGマーク被害者救済制度は次の使用時のみ対象となります。
「コンテント」および
「コンテント プラス」の背面使用時のみ

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥により発生した人身事故に対する賠償制度です。
ただし、お買い上げ日より4年以内に限ります。

●賠償についてのご注意

認定したベビーカーそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。

●製品の欠陥により事故が起きた場合には

製品の欠陥により事故が起きた場合には、下記の[事故の届出に必要な項目]を、事故が発生した日から60日以内に、協会または協会が指定する所に届けてください。

製品安全協会
〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2F
TEL 03(5808)3300

[事故の届出に必要な項目]

① 事故の原因となったベビーカーの現品
　イ）製品の名称
　ロ）製品の購入先、購入年月日

② 事故発生の状況
　イ）事故発生年月日
　ロ）事故発生場所
　ハ）事故発生状況

③ 被害の状況
　イ）被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所
　ロ）被害の状況と程度

保証について

保証は日本国内においてのみ有効です。

ご使用中に、万一、故障が発生した場合には、現品に保証書を添えて、お買い上げの販売店またはピジョン(株)修理センター(裏表紙参照)へ修理をご依頼ください。

保　証　書

保証規定

1．有効保証期間は「お買い上げ後１年間」です。
2．製造中止後の製品は部品在庫がなくなった場合、修理できないことがあります。
3．一度ご使用になった製品は、原則としてお取替えすることはできません。
4．保証期間内に取扱説明書に基づく正常な使用方法において、万一故障した場合には無償修理を行います。お客様の誤使用などによる故障においては有償修理となります。
5．保証期間内であっても下記の項目に該当するものは有償修理となります。
   A．プラスチック部品の自然劣化による変退色。
   B．アルミフレームの自然劣化(塗装、メッキはがれ)。
   C．お客様の誤使用・保管不備・手入れ不足・改造や不当な修理による故障。
   D．可動部・タイヤの自然消耗。
   E．縫製品のやぶれ・すり切れ・ほつれなど。
   F．火災・地震・水害・落雷などの天災地変などの不可抗力、事故などによる故障。
   G．故障の原因が本製品以外に起因する場合。
   H．業務用などに使用して故障した場合。
   I．保証書の必要記入項目に不備がある場合、字句を書き換えられた場合。
   J．本保証書のご提示がない場合。
6．有償修理時に要する発送費、諸経費はお客様のご負担となります。
7．保証書は再発行いたしません。(大切に保管してください)
8．本保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。

※この保証書は明示した期間、条件の下において無償修理をお約束するものです。従いまして、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お買い上げ後、ただちに下の欄に必要項目を記入してください。保証は日本国内においてのみ有効です。

品名／カラー	ピジョン コンテント／コンテントプラス
シリアル No.	(右後脚下部に貼付のシールに記載)
保証期間	お買い上げ日より 1 年間　お買い上げ日　　年　　月　　日
お客様	お名前
	ご住所　〒
	電話　　(　　)
販売店	店名
	住所　　〒
	電話　　(　　)

※お買い上げ時のレシート添付でも有効です。

MEMO

［お願い］
製品は品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。ご了承ください。

●製品の各種お問い合わせ先

〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4

ピジョン株式会社 お客様相談室

TEL 03（5645）1235

受付時間 9時～17時（土・日・祝日を除く）

●製品の修理、部品の購入などに関するお問い合わせ

〒300-0315 茨城県稲敷郡阿見町大字香澄の里36-3 筑波南第一工業団地

ピジョン株式会社 修理センター

TEL 029（889）5707

受付時間 9時～12時、13時～16時30分（土・日・祝日を除く）

12.03(1)